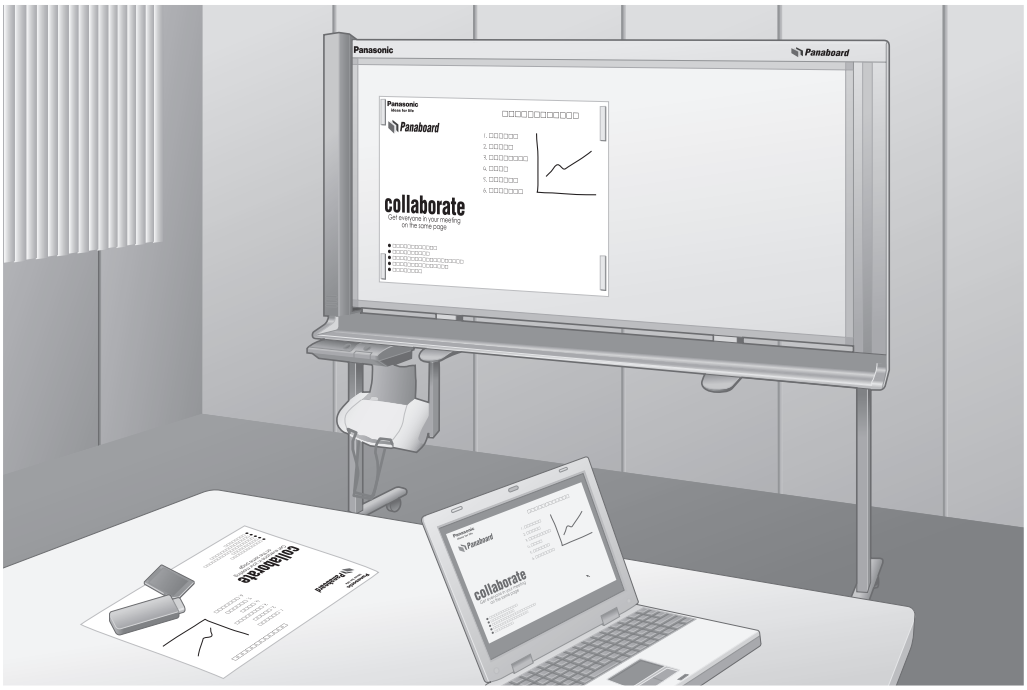
Panasonic

取扱説明書

電子黒板

品番 UB-2815C
UB-2315C
UB-2815
UB-2315



上手に使って上手に節電

保証書別添付

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（6 ～ 11 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

このたびはパナソニック「電子黒板」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ 本書の表記について

本書では、操作上お守りいただきたいことなど、大切な情報を次のマークで表しています。

お願い	操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項を記載しています。 必ずお読みください。
お知らせ	操作の参考となることや補足説明を記載しています。
☞ ○○	ご覧いただきたい参照ページを記載しています。

■ 法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

●法律でコピーを禁止されているもの

①国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券

②未使用の郵便切手、官製はがき

③政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類

●注意を要するもの

①株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。

②政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。

●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

ご使用の前に

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
アース工事については、本製品の価格には含まれておりません。

電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くのコンセントに接続してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品

- Microsoft、Windows および Windows Vista は、いずれも米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM と AT は、International Business Machines Corporation の米国あるいはその他の国の商標です。
- Pentium は、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。
- Adobe, Acrobat, Acrobat Reader 及び Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標（地域によっては登録商標）です。
- SD ロゴは商標です。
- Lexmark は、米国および他の国における Lexmark International Inc. の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

- This software is based in part of the work of the Independent JPEG Group.
- This software is based on the "libtiff" which has the following copyrights:
  Copyright (C) 1988-1997 Sam Leffler
  Copyright (C) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

本製品の特徴

UB-2815C ／ 2315C ／ 2815 ／ 2315 はスチールボードタイプの電子黒板です。
スチールボードを使用していますので、マグネットでチャート等を貼り付けて、以下の機能を使用することができます。

各モデルは以下のような仕様となっています。

UB-2815C：　カラーワイドタイプ
UB-2315C：　カラー標準タイプ
UB-2815：　モノクロワイドタイプ
UB-2315：　モノクロ標準タイプ

この取扱説明書では、
UB-2815C と UB-2315C をカラータイプ、UB-2815 と UB-2315 をモノクロタイプ
UB-2815C と UB-2815 をワイドタイプ、UB-2315C と UB-2315 を標準タイプ
として説明します。

■ プリンターへの印刷

電子黒板に書いた文字や貼り付けたチャート等を読み取ってプリンターに印刷することができます。
カラータイプではカラーで印刷することもできます。

■ USB フラッシュメモリーへの読み取り

電子黒板に書いた文字や貼り付けたチャート等を読み取って USB フラッシュメモリーに保存することができます。*1

*1 すべての USB フラッシュメモリーでの動作を保証するものではありません。

■ SD メモリーカードへの読み取り

電子黒板に書いた文字や貼り付けたチャート等を読み取って SD メモリーカードに保存することができます。*2

*2 すべての SD メモリーカードでの動作を保証するものではありません。

■ コンピューターインターフェース機能

ボードイメージキャプチャーソフトウェアを使用して、電子黒板に書いた文字や貼り付けたチャート等を簡単にコンピューターに読み取り、PDF ファイルに保存することができます。

また、Quick Image Navigator で以下の機能を使用することもできます。
●TWAIN ドライバーを使用して、電子黒板に書いた文字や貼り付けたチャート等を読み取ることができます。
●読み取った画像などを管理することができます。

Quick Image Navigator を使用するには、Web サイトからのダウンロードおよびインストールが必要です。
Quick Image Navigator の使用方法については、Quick Image Navigator 取扱説明書をご参照ください。

もくじ

ページ

はじめに

安全上のご注意. 6
正しくお使いいただくためのお願い 12
付属品の確認 14
各部のなまえとはたらき. 15
- コントロールパネル (カラータイプ) 17
- コントロールパネル (モノクロタイプ) 18

使う

読み取る. 19
- プリンターに複写する 20
- USB フラッシュメモリーに読み取る. 22
- SD メモリーカードに読み取る 23

本体を移動する. 24
ホワイトボードを回転する 25
設定する. 26
- 時刻印刷 26
- ファイル形式設定 26
- フルサイズ設定（ワイドタイプのみ) 27
- 時刻設定 27
- テスト印字 28
- アライメント調整 （カラータイプのみ) 29

コンピューターインターフェース機能. 30
- コンピューターのシステム環境 30
- CD-ROM の内容. 30
- コンピューターとの接続 30
- ドライバー／ソフトウェアの インストール 31
- Quick Image Navigator ソフトウェアのインストール. 33
- ドライバー／ソフトウェアを 削除するには 34
- Quick Image Navigator ソフトウェアを削除するには. 34
- ボードイメージキャプチャー ソフトウェアで読み取る. 35
- Quick Image Navigator ソフトウェアで読み取る 36
- 電子黒板操作パネル（TWAIN ドライバー) 37

困ったとき

日常のお手入れ. 38
- ホワイトボード・本体部のお手入れ. 38
- イレーサー（黒板消し）のお手入れ. 38
- 白基準板の清掃 39
- スキャナーの清掃 39
- 電池交換 40
- プリンターのノズル清掃 40
- プリントカートリッジの ノズル面／接触面の清掃 41
- プリンターのカートリッジ交換 42

故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検). 44
- こんな表示が出たら. 46

仕様 48
- プリンター 49
- 別売品・消耗品 49

保証とアフターサービス. 50

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

■必ず、アース線接続を行う

アース線接続

漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

●アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外での使用はしない

禁　止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■雷が鳴ったら機器や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

⚠警告

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■分解や修理・改造をしない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●お買い上げの販売店にご相談ください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

禁　止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■電源コードを引っぱらず、電源プラグを持って抜く

電源コードを傷め、火災・感電の原因になります。

■発煙・発熱・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

■マーカーのキャップ、電池、SD メモリーカードや USB フラッシュメモリーは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁　止

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

■指定外の電池を使用しない

電池の発熱によるやけどや、液もれの原因になります。

■電池の ⊕ と ⊖ は正しく入れる

⊕ と ⊖ を間違えて入れると、電池の発熱によるやけどや、液もれの原因になります。

■使えなくなった電池は、すぐ取り出す

液もれの原因になります。

- 液もれが起きた電池は使用しないでください。
- 万一、もれた液が身体に付いたら、水でよく洗い流してください。

■電池を充電、ショート、加熱、分解したり、火の中へ入れない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

- 万一、もれた液が目に入ったり、身体に付いたら、水でよく洗い流してください。身体に異常が感じられたら速やかに医師にご相談ください。

■電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する

他の金属や電池と混ざると液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池に直接ハンダ付けをしない

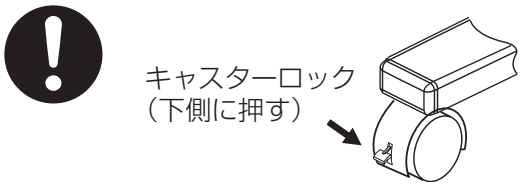
液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

⚠注意

■サービスマン以外は設置しない

設置の不具合により、けがの原因になることがあります。

■設置時または移動後は、キャスターをロックする



動いたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

■本機を移動するときは、必ず二人で行う

転倒して、けがをするおそれがあります。

■移動するときは、スキャナーを片手で押さえる

スキャナーが動き、けがをするおそれがあります。

■不安定な場所に置かない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。

■湿気やほこりの多い場所では使わない

火災・感電の原因になることがあります。

■トレイにコップや水などの入った容器を置かない

水などがこぼれて機器にかかると、火災・感電の原因になることがあります。

■持ち上げたり、寄りかかったりしない

傾いたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

■機器を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

■倒したり、機器を破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

●お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意

■連休などで長期間使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

漏電により、火災の原因になることがあります。

■ホワイトボードはゆっくりと注意して回転させる

指をはさんだり、人にぶつかってけがをするおそれがあります。

■ホワイトボードを回転したり固定するときには、ホワイトボードとボードストッパーの間に指をはさまないよう注意する

指をけがするおそれがあります。

■ホワイトボードを回転させたあとは、必ずボードストッパーで固定する

ホワイトボードが回転し、けがをするおそれがあります。

■動作中はスキャナーに触れない

禁　止

スキャナーに指をはさまれ、けがをするおそれがあります。

■動作中にスキャナーの光源ランプを直視しない

禁　止

ランプの光により、目を傷めるおそれがあります。

■プリントカートリッジは火中に投げ入れない

禁　止

爆発したり、燃えて火災・やけどをするおそれがあります。

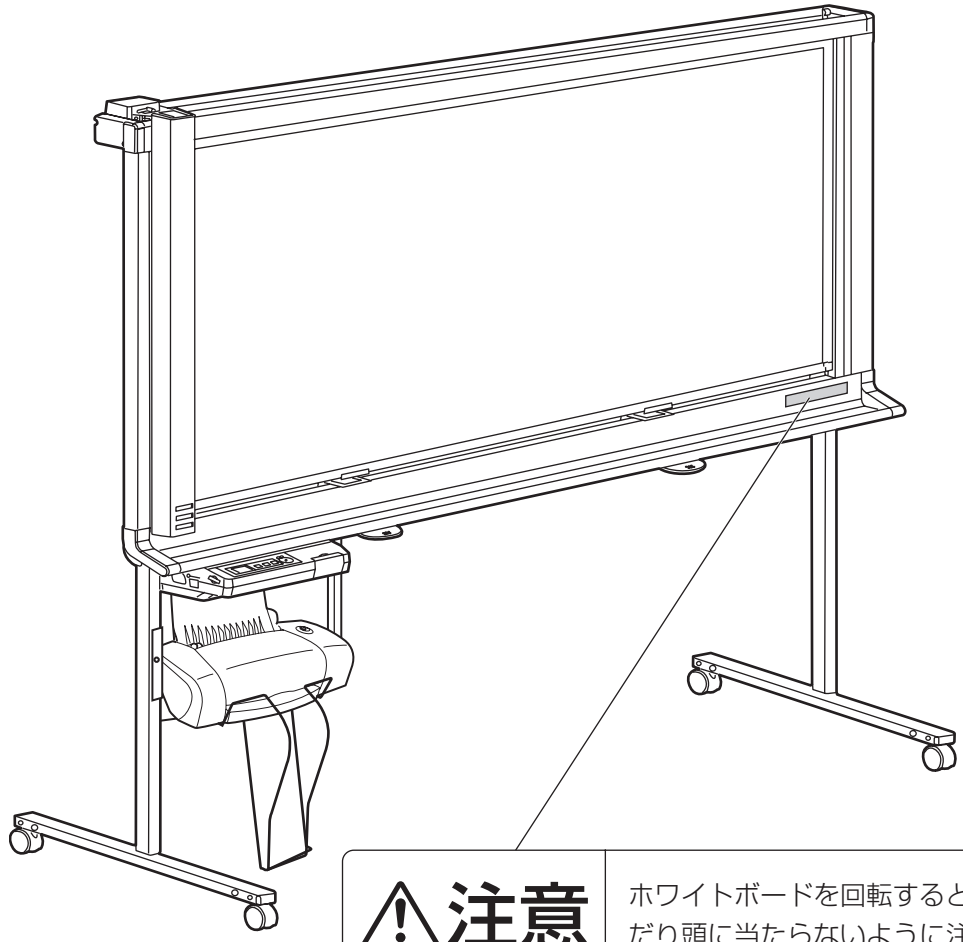
■プリントカートリッジは幼児の手の届く場所に置かない

禁　止

プリントカートリッジ内のインクを飲むと腹痛などをおこすおそれがあります。

●万一、プリントカートリッジ内のインクを飲んでしまったときは、速やかに医師にご相談ください。

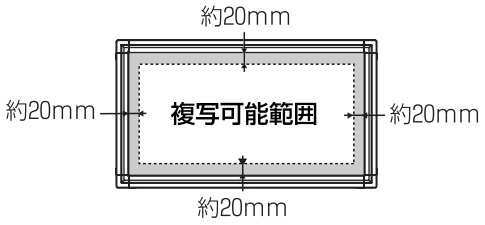
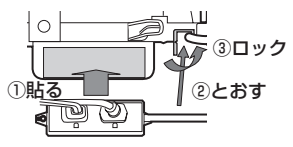
製品に貼られている安全上の警告表示ラベル



⚠注意

ホワイトボードを回転するときには、指を挟んだり頭に当たらないように注意してください。

正しくお使いいただくためのお願い

使用場所について	• 直射日光の当たる場所や、ストーブ、冷暖房機の吹出口の近くに置かないでください **（機器が変形したり、変色します。）** • 屋外、直射日光のあたる場所、窓ぎわの明るい場所では使用しないでください **（正しく複写できないことがあります。）** • 10 ℃以下の場所や、急激な温度変化のある場所では使用しないでください **（複写しても写らないことがあります。）**
ホワイトボードについて	• 複写可能範囲内に、太く濃く書いてください **右図の網掛け部分は複写できません。** • 書いたまま長時間放置しないでください **（消えにくくなります。）**  • 汚れのひどいイレーサー（黒板消し）で消さないでください • 定期的に水にぬらしてよくしぼったやわらかい布で、軽くふいてください • チャートを貼り付けるマグネットは高さ 7 mm 以下のものを使用してください **（マグネットが高いとスキャナーの動作不良の原因になります。）**
マーカー・イレーサー（黒板消し）について	• 性能保持のため、付属品または別売品 (☞ 49 ページ) を使用してください **（油性マーカーなど、付属品または別売品以外を使用すると、ホワイトボードを傷つけたり、消えにくくなることがあります。）** • マーカーは、水平に保管してください **（上向きに保管すると、インクが出なくなることがあります。）**
スキャナーについて	• レール上側（天井側）に手を入れないでください **（スキャナーの動作不良の原因になります。）** • トレイにマーカーやイレーサー以外を置かないでください **（スキャナーの動作不良の原因になります。）**
電源スイッチ	• 電源を切ったあとで再度入れる場合には、2 秒以上待ってから電源を入れてください
電源コード	• 付属の電源コードは本機器専用です。他の機器には使用しないでください • 機器を移動するときは、電源拡張コードをコンセントから抜いてコードフックに巻いてください **（引きずったり踏んだりして、ケーブルを傷つけることがあります。）** • 電源拡張コードがはずれたときは、右図のようにもどしてください • 電源拡張コードには、他の機器を接続しないでください 
USB ケーブル	• 電子黒板を USB ハブに接続すると、動作しないことがあります • 2 台以上の電子黒板を 1 台のコンピューターに接続しないでください **（コンピューターの動作が不安定になることがあります。）**

CD-ROM	• CD-ROM の表裏に文字を書いたり、紙をはらないでください **（データが正常に読み取れなくなります。）** • 信号面に触れないでください。また、持つときは、指紋や傷がつかないように持ってください **（ラベルのない虹色の面は、データが書き込まれている信号面です。信号面が汚れると、データが正常に読み取れなくなります。）** • 長時間直射日光の当たるところや暖房機などの近くに放置しないでください **（CD-ROM が変形し、データが正常に読み取りなくなります。）** • 投げたり、曲げたりしないでください **（CD-ROM に傷がついたり、変形したりすると、データが正常に読み取れなくなります。）**
プリント カートリッジ	• プリントカートリッジは、使用するときに開封してください **（パッケージを開封したままにすると、印字不良の原因となります。）**

メモリーデバイスを廃棄／譲渡するときのお願い

コンピューターの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーデバイス内のデータは完全には消去されません。
廃棄／譲渡の際は、メモリーデバイス本体を物理的に破壊するか、市販のコンピューター用データ消去ソフトなどを使ってメモリーデバイス内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーデバイス内のデータはお客様の責任において管理してください。

記憶内容保存のお願い

コンピューターの記憶装置は、使用誤りや静電気・電気的ノイズ・振動・ほこりなどの影響を受けたとき、また故障・修理や使用中に電源が切れたとき記憶内容が変化・消失する場合があります。
ご使用に際しては、取扱説明書に記載された注意書きをよくお読みください。
なお、次のことを必ずお守りください。
●重要な内容は必ずデータをバックアップし保存するか、原紙を保存してください。

付属品の確認

付属品の確認

以下の付属品がすべてそろっているか、ご確認ください。
万一不足の品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

付属品一覧

マグネット 2	取扱説明書（本書）. 1
ソフトウェア CD-ROM 1	操作早見表 1
USB ケーブル (約 1.8 m). 1	保証書. 1
	六角レンチ *1 2
	スパナ *1. 1

消耗品 ※

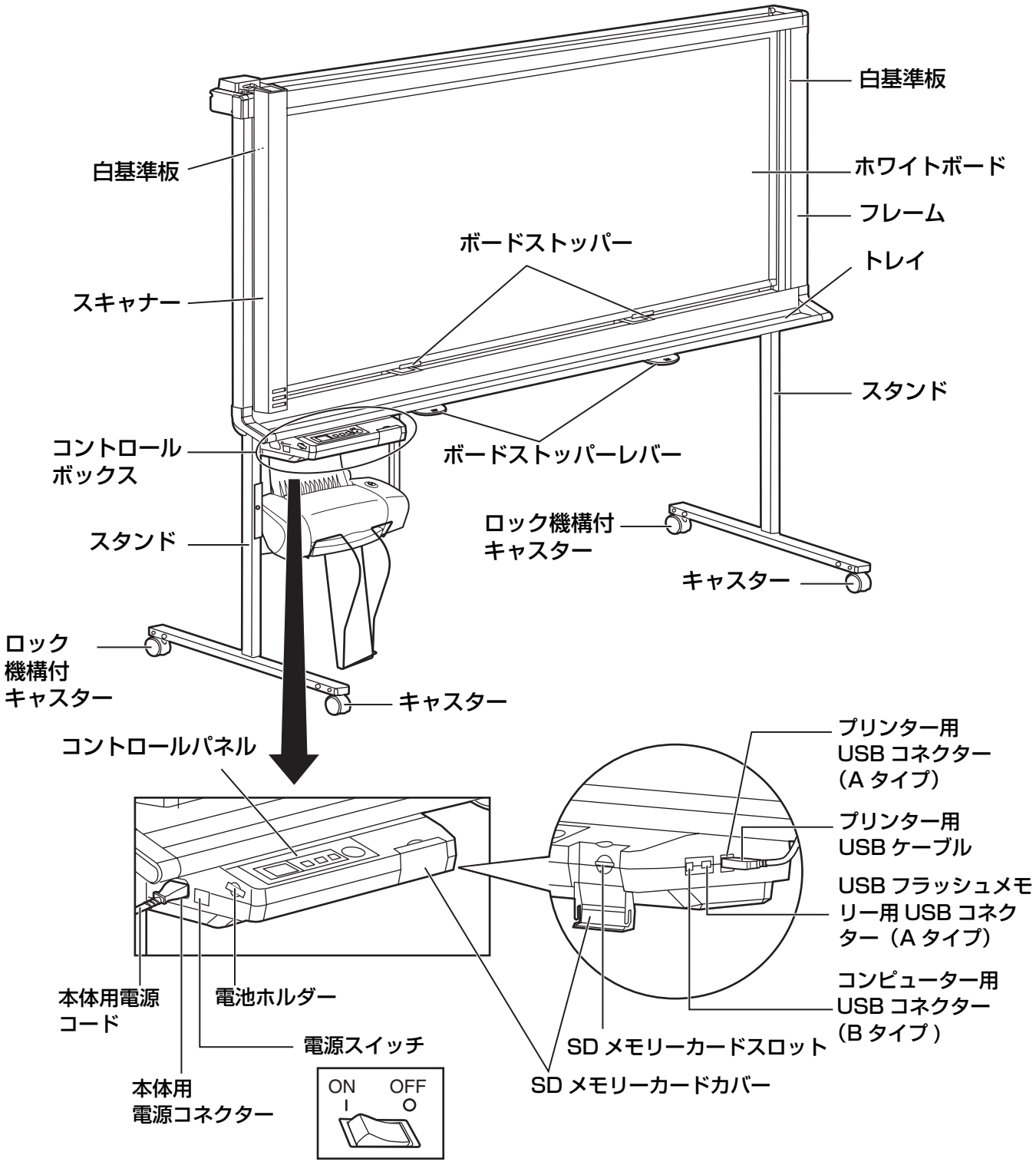
マーカー（黒・赤・青). . . . . .各 1	イレーサー（黒板消し）. 1

*1 **六角レンチとスパナは、設置後の保守サービス時にサービス実施会社が使用します。大切に保管してください。**

※消耗品については、別売品を用意しています。別売品番などの詳細は、☞ 49 ページ。

各部のなまえとはたらき

正面

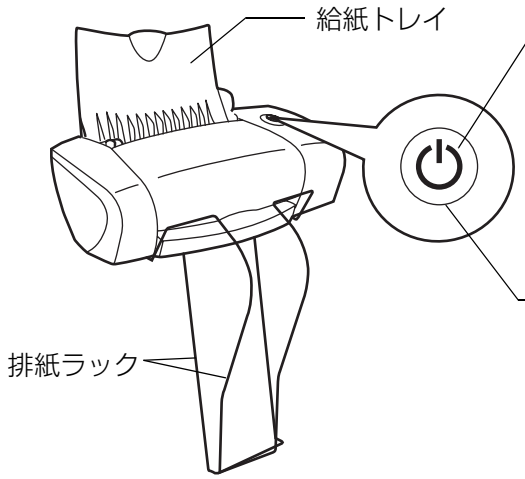


お知らせ

- この図はワイドタイプを示しています。
  標準タイプはボードストッパーおよびボードストッパーレバーが１つで構成されています。

各部のなまえとはたらき

プリンター



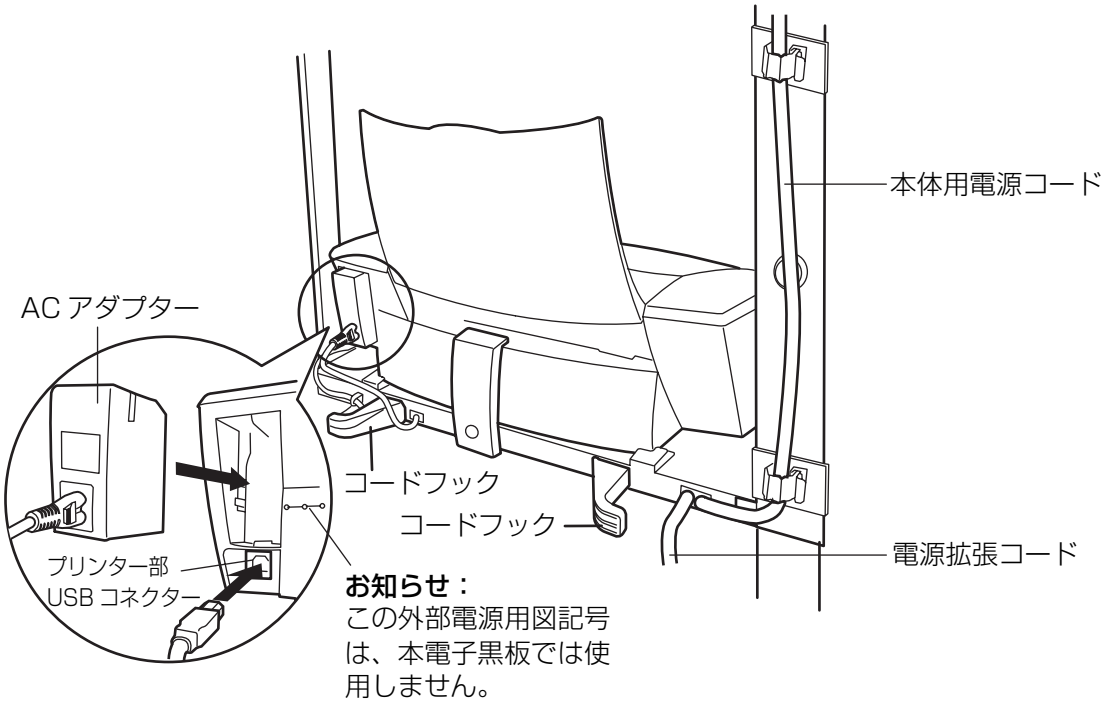
電源ランプ
プリンターの電源が入っているときに点灯します。
電子黒板は印刷時またはプリンターの状態確認時に自動的に電源を入れ、終了すると電源を切ります。
また、プリンターに異常が発生しているときには点滅します。

電源ボタン
プリントカートリッジ交換時等にプリンターの電源を入れるときに押します。
また、電源ランプが点滅しプリンターに異常が発生しているときにエラーを解除するために押します。

お願い

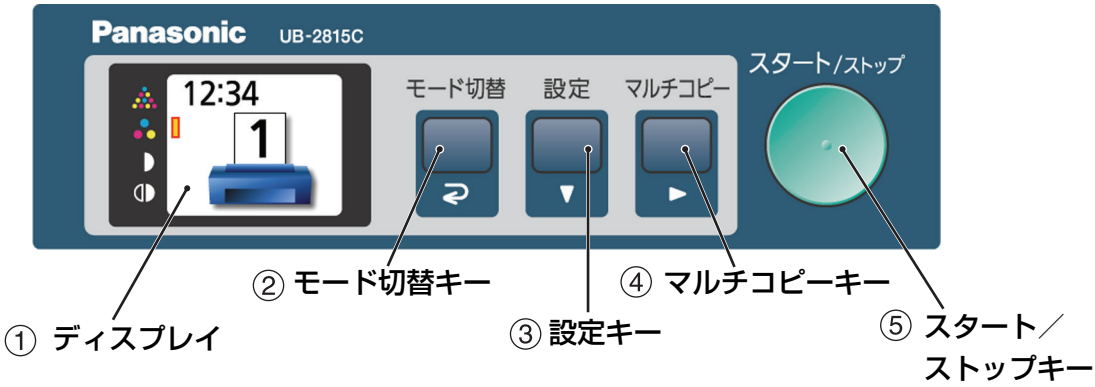
- ホコリやごみによる給紙不良を防止するため、使用しないときは給紙トレイを閉じてください。

背面



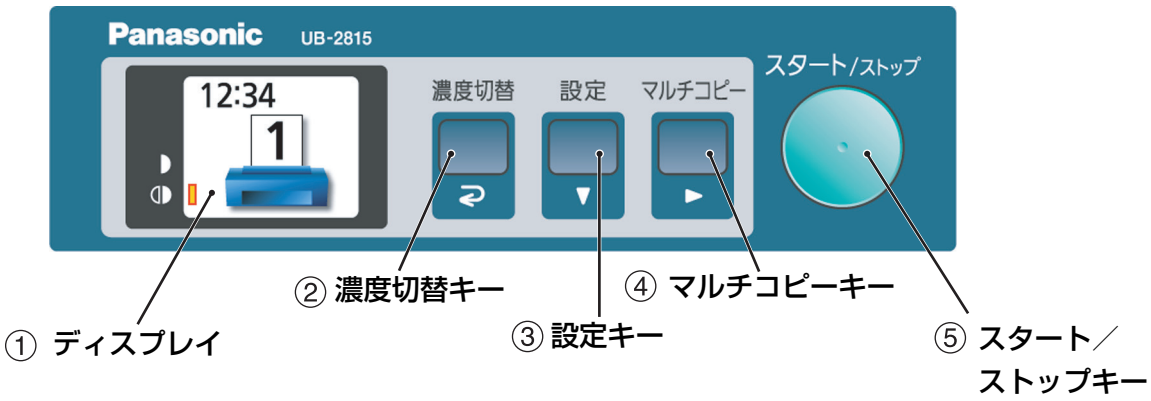
お知らせ：
この外部電源用図記号は、本電子黒板では使用しません。

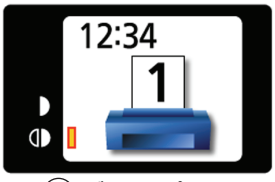
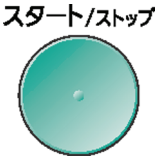
コントロールパネル (カラータイプ)



なまえ	はたらき
①ディスプレイ	本機が待機状態の場合には、以下の内容を表示します。 • 上部左には時刻が表示されます。 • 左端のマークは現在の読み取りモードを示します。 • 中央には現在の読み取り先が表示されます。
②モード切替キー	キーを押すごとに、読み取りモードを切り替えます。 現在の読み取りモードはディスプレイの左端のマークで表示されます。 高精細カラー： 高精細なカラーで読み取ります。貼り付けたチャート等をカラーで読み取るときに使用します。 標準カラー： 標準のカラーで読み取ります。マーカーで書いた文字をカラーで読み取るときに使用します。 白黒（こい）： 通常濃度より濃いモノクロで読み取ります。 白黒（ふつう）： 通常濃度のモノクロで読み取ります。
	プレビューモード： 前の表示に戻ります。 設定モード： 待機状態に戻ります。
③設定キー	本機の設定を変更する場合に押します。(☞ 26 ページ)
	プレビューモード： 下の部分を表示します。 設定モード： 次の項目を選択します。
④マルチコピーキー	プリンターに複数枚複写する場合、ディスプレイに希望枚数が表示されるまで数回押してください。
	プレビューモード： 右の部分を表示します。 設定モード： 右の項目を選択します。またはその項目を実行します。
⑤ スタート／ストップキー	ホワイトボード面を複写します。 複写中に押すと、複写を途中で止めることができます。

コントロールパネル (モノクロタイプ)



なまえ	はたらき
 ①ディスプレイ	本機が待機状態の場合には、以下の内容を表示します。 • 上部左には時刻が表示されます。 • 左端のマークは現在の読み取りモードを示します。 • 中央には現在の読み取り先が表示されます。
 ②濃度切替キー	キーを押すごとに、読み取り濃度を切り替えます。 現在の濃度はディスプレイの左端のマークで表示されます。 こい：　通常濃度より濃く読み取ります。 ふつう：　通常濃度で読み取ります。
	プレビューモード：　前の表示に戻ります。 設定モード：　待機状態に戻ります。
 ③設定キー	本機の設定を変更する場合に押します。(☞ 26 ページ)
	プレビューモード：　下の部分を表示します。 設定モード：　次の項目を選択します。
 ④マルチコピーキー	プリンターに複数枚複写する場合、ディスプレイに希望枚数が表示されるまで数回押してください。
	プレビューモード：　右の部分を表示します。 設定モード：　右の項目を選択します。またはその項目を実行します。
 ⑤ スタート／ストップキー	ホワイトボード面を複写します。 複写中に押すと、複写を途中で止めることができます。

読み取る

ホワイトボードに書かれた文字や貼り付けたチャートを読み取って、プリンターに複数枚複写したり、USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードにイメージデータとして保存することができます。
複数の読み取り先が同時に利用可能な場合は、以下の優先順位で読み取り先が選択されます。

1. USB フラッシュメモリー
2. SD メモリーカード
3. プリンター

現在の読み取り先はディスプレイに表示されています。

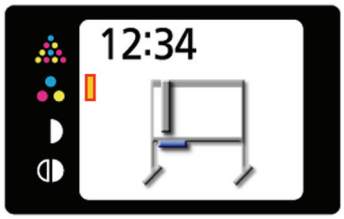
コンピューターに読み取る場合は、30 ページからの「コンピューターインターフェース機能」をご参照ください。

お願い

- 屋外、直射日光のあたる場所、窓ぎわの明るい場所では使用しないでください。複写が白くなったり、黒くなったりすることがあります。
- ホワイトボード、白基準板に直射日光があたる場合は、ブラインドやカーテン等で光が当たらないようにしてください。
- 白基準板をマーカー等で汚したり、白基準板にマグネットやテープを貼らないでください。複写品質に悪影響を与える原因となります。

お知らせ

- 以下の画面が表示されているときは、適切な読み取り先がありません。この場合には、スタート／ストップキーを押しても読み取りは行われません。



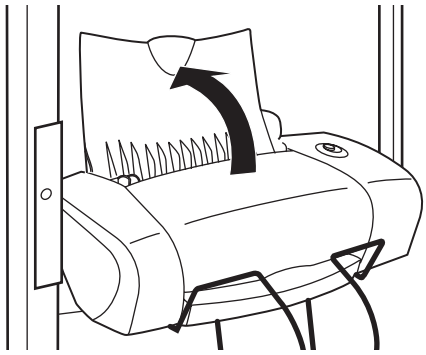
- USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードに読み取ってイメージデータとして保存する場合は、以下のファイル形式を選択することができます。（26 ページの「ファイル形式設定」をご参照ください。）
  カラーイメージ： PDF ／ JPEG 形式
  白黒イメージ： PDF ／ TIFF 形式
- イメージデータは USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードに以下のように保存されます。
  ［フォルダー］
  UB-2815C の場合 :"UB-2815C"
  UB-2315C の場合 :"UB-2315C"
  UB-2815 の場合： "UB-2815"
  UB-2315 の場合： "UB-2315"
  ［ファイル名］
  MMDDHHxx.PDF（PDF ファイル形式の場合）
  - xx：通番（00 ～ 99）
  - HH：時間
  - DD：日
  - MM：月

  ［ファイル拡張子］
  PDF ファイル形式： "MMDDHHxx.PDF"
  JPEG ファイル形式 :"MMDDHHxx.JPG"
  TIFF ファイル形式： "MMDDHHxx.TIF"
- 使用可能な USB フラッシュメモリー･SD メモリーカードについての情報は、以下のアドレスをご参照ください。
  http://panasonic.biz/doc/eboard/ub-2815c_info.htm
- スキャナーがホーム位置以外のときに、電源スイッチを「I」（入）にすると、ホーム位置まで移動して停止します。
- スキャナーがホーム位置以外のときに、スタート／ストップキーを押すと、ホーム位置へ移動してから読み取りを開始します。

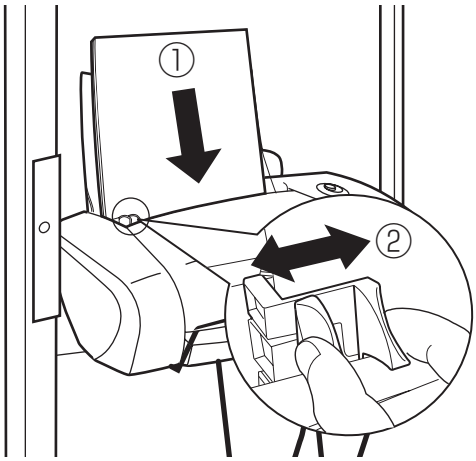
プリンターに複写する

■記録紙をセットする

1 給紙トレイが閉じているときは、止まるまで開く。



2 記録紙は印刷面を上にして給紙口の右端にそろえ、軽く突き当たるまで挿入しセットする①。
用紙ガイドを記録紙の幅に合わせる②。



お願い

- 軽く突き当たる位置を越えて記録紙を押し込まないでください。
- セットできる記録紙は A4 サイズのみ、方向はタテ送りです。推奨紙で約 50 枚までセットできます。
- 記録紙の劣化を避けるため、必要枚数のセットをおすすめします。
  ただし、2 枚以上をセットしてください。
  また、記録紙の残量が 1 枚になっているときは、残っている記録紙を一度取り出した後に、新しい記録紙と合わせて補給してください。

お願い

- 端が折れている・カールしている・しわがよっている・破れているなど、状態の悪い用紙は使用しないでください。
- 記録紙は 64 ～ 90g/m^2 上質紙･再生紙をお使いになれますが、できるだけ推奨紙をご使用ください。感熱紙やインクリボン用の用紙は、コピー画質劣化の原因となりますので使用しないでください。
- 用紙ガイドを記録紙の幅にしっかり合わせてください。正しくセットしないと、用紙が極端に斜めに給紙されたり、用紙づまりになることがあります。
- 記録紙なしエラー表示（U312224）の場合には、記録紙をセットして、プリンターの電源スイッチを押してください。プリンターのエラーが解除され、印刷が継続されます。

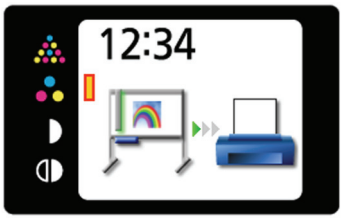
■ プリンターに複写する

1 電源スイッチを「I」（入）にする。
- **待機状態になると、ディスプレイにプリンターが表示されます。**

2 **カラータイプの場合：**モード切替キーを押して、読み取りモードを設定する。
モノクロタイプの場合：濃度切替キーを押して、読み取り濃度を設定する。

3 マルチコピーキーを押して、複写枚数（1 から 9）を設定する。

4 スタート／ストップキーを押す。
- **読み取りおよびプリンターへの印刷が開始され、ディスプレイに複写状況が表示されます。**



- **プリンターへの印刷が終了すると、待機状態に戻ります。**

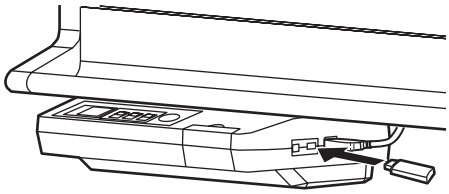
お願い

- プリンターの記録紙枚数が複写枚数より少ないときは、コピー開始前に必ず用紙を追加してください。複写中に記録紙がなくなると、コントロールパネルにエラー表示「U312224」されます。記録紙をセットして、プリンターの電源スイッチを押してください。プリンターのエラーが解除され、印刷が継続されます。
- 印刷中に電源を切らないでください。紙づまりの原因となったり、プリントカートリッジのヘッドのインクが乾燥して印刷できなくなったりします。
- 排紙ラックはプリンターから排出された記録紙の落下防止用です。何枚もためるとプリンターで記録紙がつまったり、排出された記録紙が床に落下することがあります。排出された記録紙は取り出すようにしてください。
- しばらくプリンターをご使用にならなかった場合は、複写画像がかすれることがあります。そのときは、プリントカートリッジのノズル清掃を行ってください。（☞ 40 ページ）
- プリンターへの複写では、スピードを優先させています。高精細カラーでの複写をより高品質で行うには、いったん USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードに保存して、他のプリンターで印刷することをおすすめします。

USB フラッシュメモリーに読み取る

1 電源スイッチを「I」（入）にする。

2 USB フラッシュメモリーを USB フラッシュメモリー接続用 USB コネクター A に挿入する。



- **USB フラッシュメモリーが挿入されると、ディスプレイに USB フラッシュメモリーのアイコンが点滅します。USB フラッシュメモリが認識されると点滅が停止し、待機状態になります。**

お知らせ

- セキュリティ機能などの特殊な機能を持った USB フラッシュメモリーは使用できません。
- USB フラッシュメモリーの認識が完了するまでの時間は、USB フラッシュメモリーのフォーマットに依存します。認識が完了するまでの時間が非常に長い場合（数十秒以上）は、FAT（FAT16）でフォーマットされているかを確認してください。

3 モード (濃度) 切替キー（↩）を押して、読み取りモードを設定する。

4 スタート／ストップキーを押す。

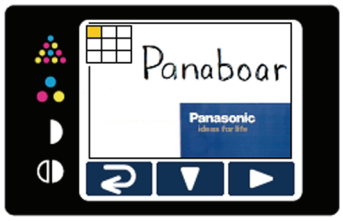
- **USBフラッシュメモリーへの読み取りが開始され、ディスプレイに読み取り状況が表示されます。**

- 読み取りが完了すると、ディスプレイに読み取った画像全体が表示されます。

お願い

- プレビューが表示されるまで、USB フラッシュメモリーは絶対に抜かないでください。

5 読み取った画像の細部を表示させる場合は、マルチコピーキー（▶）を押す。



- **ディスプレイの左上に現在表示している部分が表示されます。**
  下の部分を表示させる場合は設定キー（▼）、右の部分を表示させる場合はマルチコピーキー（▶）を押します。
- **画像全体表示に戻る場合は、モード (濃度) 切替キー（↩）を押します。**

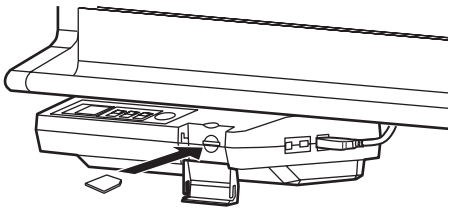
6 モード (濃度) 切替キー（↩）を押して、待機画面に戻ります。

- **待機画面に戻ったら、USB フラッシュメモリーを抜くことができます。**
- **USB フラッシュメモリーに保存されるファイルについては、19 ページをご参照ください。**

SD メモリーカードに読み取る

1 電源スイッチを「I」（入）にする。

2 SD メモリーカードカバーを開けて、SD メモリーカードを SD メモリーカードスロットにカチッとロックするまで押して挿入し、SD メモリーカードカバーを閉じる。



- **SD メモリーカードがディスプレイに表示され、待機状態になります。**

お知らせ

- SD メモリーカードが認識されない場合は、コンピューターの標準フォーマットソフトウェアでフォーマットされている可能性があります。
  電子黒板で使用する際は、必ず専用のソフトウェアで SD メモリーカード規格に準拠するようにフォーマットを行ってください。
  フォーマットを行うと SD メモリーカードのデータはすべて削除されます。必ずデータをバックアップしてからフォーマットを行うようにしてください。
  フォーマットするための専用のソフトウェアは、以下のホームページよりダウンロードすることができます。
  http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/sd_formatter.html

3 モード (濃度) 切替キー（↩）を押して、読み取りモードを設定する。

4 スタート／ストップキーを押す。

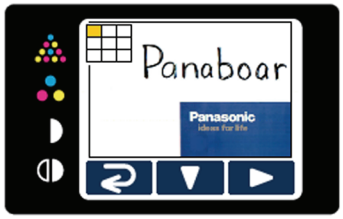
- **SD メモリーカードへの読み取りが開始され、ディスプレイに読み取り状況が表示されます。**

- **読み取りが完了すると、ディスプレイに読み取った画像全体が表示されます。**

お願い

- プレビューが表示されるまで、SD メモリーカードは絶対に抜かないでください。

5 読み取った画像の細部を表示させる場合は、マルチコピーキー（▶）を押す。



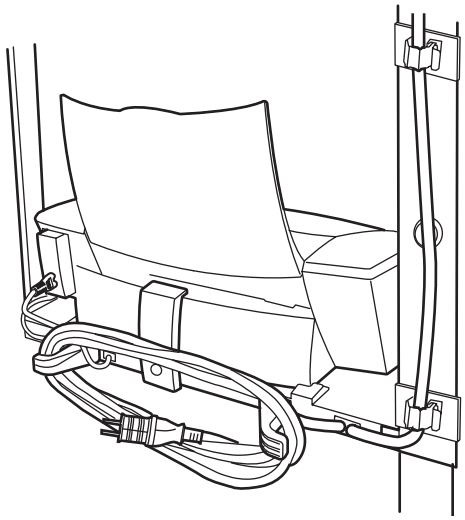
- **ディスプレイの左上に現在表示している部分が表示されます。**
  下の部分を表示させる場合は設定キー（▼）、右の部分を表示させる場合はマルチコピーキー（▶）を押します。
- **画像全体表示に戻る場合は、モード (濃度) 切替キー（↩）を押します。**

6 モード (濃度) 切替キー（↩）を押して、待機画面に戻ります。

- **待機画面に戻ったら、SD メモリーカードを抜くことができます。**
- **SD メモリーカードを抜く場合は、SD メモリーカードカバーを空けて、SD メモリーカードを押すと、ロックが解除されて取り出すことができます。**
- **SD メモリーカードに保存されるファイルについては、19 ページをご参照ください。**

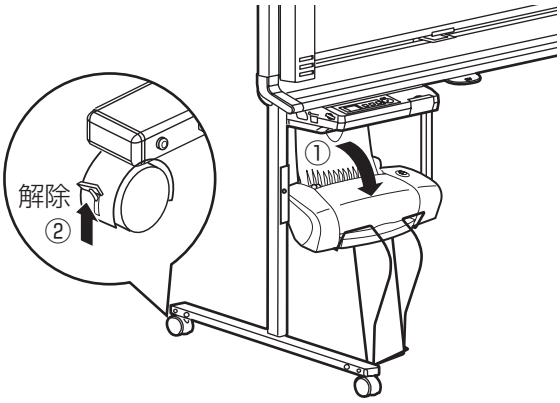
本体を移動する

1 電源スイッチが「○」（切）になっていることを確認し、電源拡張コードをコンセントから抜き、コードフックに巻く。



- **コンピューター等を接続している場合には、それらの接続も外してください。**

2 プリンターの給紙トレイを閉じる①。
キャスターロックを解除する②。



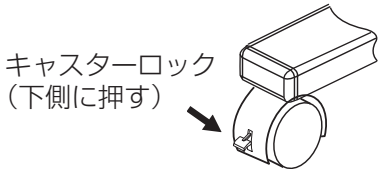
3 衝撃や振動を与えないようにして、移動する。

- **スキャナーを軽く押さえて移動してください。**

お願い

- 移動は必ず二人で行ってください。

4 キャスターをロックする。



ホワイトボードを回転する

ホワイトボードは両面が使用できます。

⚠注意

■ホワイトボードはゆっくりと注意して回転させる

指をはさんだり、人にぶつかってけがをするおそれがあります。

■ホワイトボードを回転したり固定するときには、ホワイトボードとボードストッパーの間に指をはさまないよう注意する

指をけがするおそれがあります。

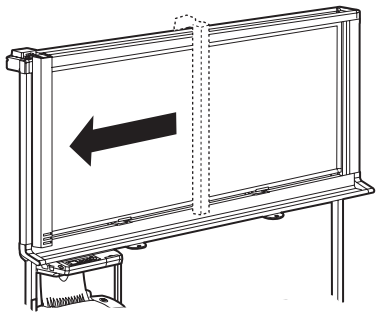
■ホワイトボードを回転させたあとは、必ずボードストッパーで固定する

ホワイトボードが回転し、けがをするおそれがあります。

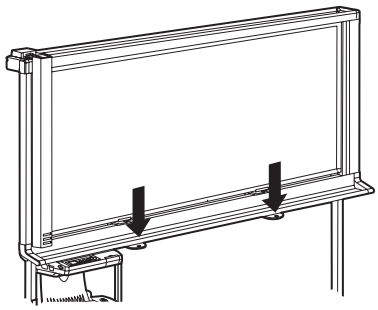
お知らせ

- 標準タイプはボードストッパーとボードストッパーレバーが 1 つです。

1 スキャナーを左端まで移動する。

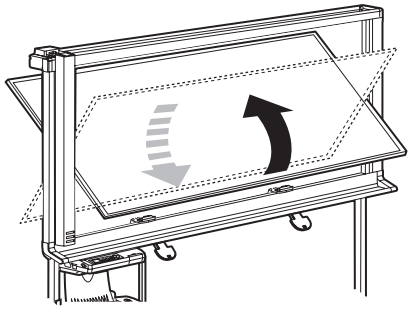


2 ボードストッパーレバーを下げる。



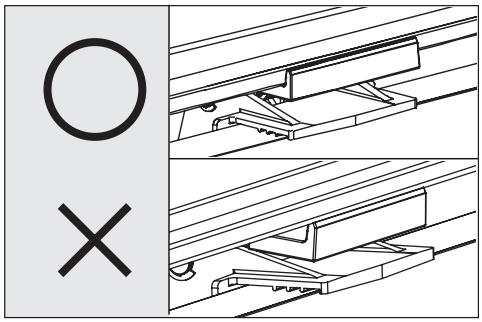
- **ボードストッパーが下がり、ホワイトボードが回転できるようになります。**

3 ホワイトボードをゆっくりと回転させる。



4 ボードストッパーレバーを上げて、ホワイトボードを固定する。

- **ボードストッパーが上がり、ホワイトボードが固定できるようになります。**
- **ホワイトボードが正しくロックされることを確認してください。**



設定する

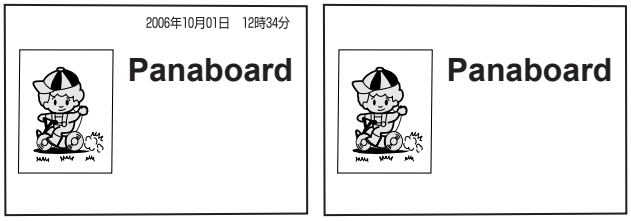
コントロールパネルから以下を設定することができます。

お知らせ

- コンピューターからも設定することができます。(☞ 37 ページ)

時刻印刷

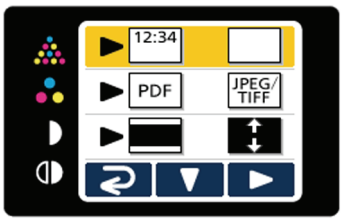
読み取ったイメージに時刻を入れるかどうかを設定することができます。



［オン］　［オフ］

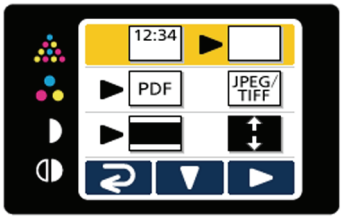
1 設定キーを押す。

- **ディスプレイに設定画面が表示されます。**



2 マルチコピーキー（▶）を押して、12:34（時刻印刷オン）または □（時刻印刷オフ）に矢印を合わせる。

- **時刻印刷オフの場合、ディスプレイ表示は以下のようになります。**



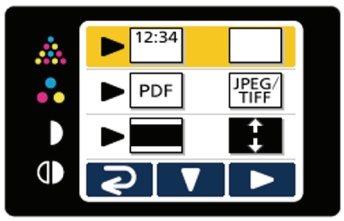
3 モード (濃度) 切替キー（↩）を押して、通常画面に戻る。

ファイル形式設定

USB フラッシュメモリーおよび SD メモリーカードに保存するファイル形式を設定することができます。

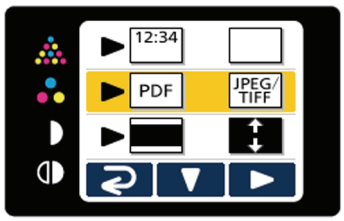
1 設定キーを押す。

- **ディスプレイに設定画面が表示されます。**



2 設定キー（▼）をもう 1 回押す。

- **ファイル形式設定が選択されます。**



3 マルチコピーキー（▶）を押して、PDF（PDF）または JPEG/TIFF（JPEG/TIFF）に矢印を合わせる。

- **モノクロタイプは ▶ PDF TIFF となっています。**
- **PDF に設定すると、カラーまたは白黒で読み取られた画像は PDF ファイル形式で保存されます。**
- **JPEG/TIFF に設定すると、カラーで読み取られた画像は JPEG ファイル形式で、白黒で読み取られた画像は TIFF ファイル形式で保存されます。**

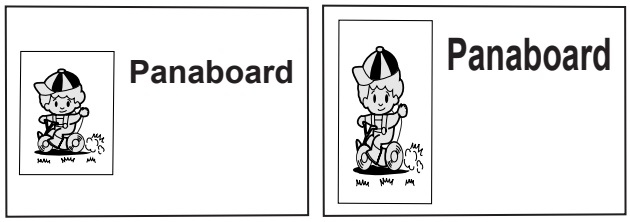
4 モード (濃度) 切替キー（↩）を押して、通常画面に戻る。

お知らせ

- JPEG/TIFF に設定すると、読み取られたイメージは 90 度回転して保存されます。グラフィックソフトウェア等を使用して回転させてください。

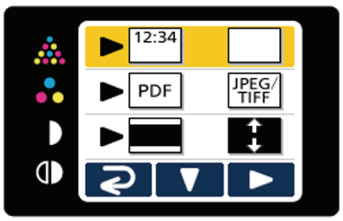
フルサイズ設定（ワイドタイプのみ）

ホワイトボードの縦方向サイズに合わせ、読み取ったイメージをフルサイズに設定することができます。

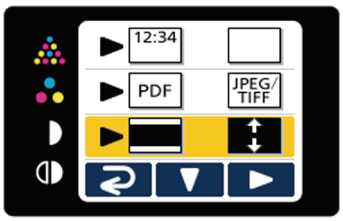


［通常サイズ］　［フルサイズ］

1 設定キーを押す。
- **ディスプレイに設定画面が表示されます。**



2 設定キー（▼）を 2 回押す。
- **フルサイズ設定が選択されます。**



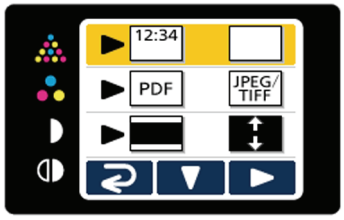
3 マルチコピーキー（▶）を押して、▬（通常サイズ）または ▮（フルサイズ）に矢印を合わせる。

4 モード (濃度) 切替キー（↩）を押して、通常画面に戻る。

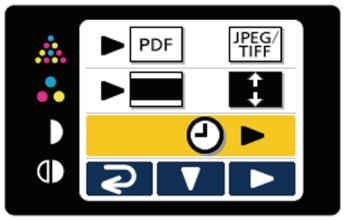
時刻設定

以下の手順で時刻を設定することができます。

1 設定キーを押す。
- **ディスプレイに設定画面が表示されます。**



2 **ワイドタイプの場合：**設定キー（▼）を 3 回押す。
標準タイプの場合：設定キー（▼）を 2 回押す。
- **時刻設定が選択されます。**

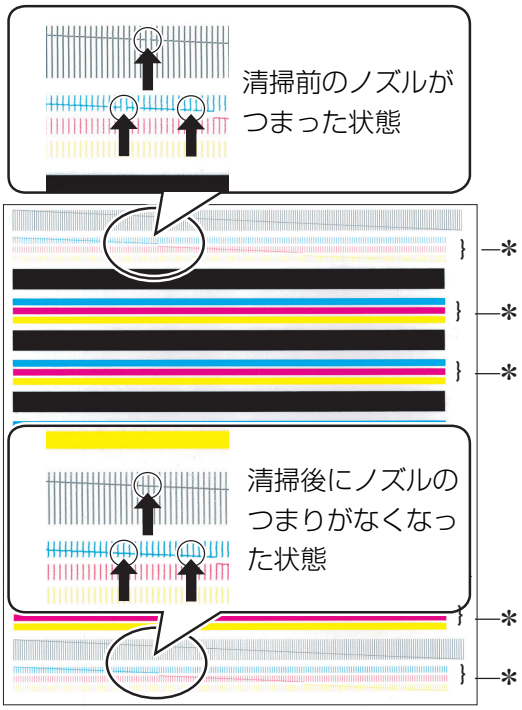


3 マルチコピーキー（▶）を押す。
- **ディスプレイに時刻画面が表示されます。**
  マルチコピーキー（▶）で変更する項目を選択し、設定キー（▼）で数値を設定します。

4 モード (濃度) 切替キー（↩）を押して、通常画面に戻る。

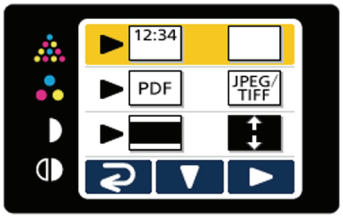
テスト印字

読み取ったイメージがかすれて印刷される場合には、以下の手順でテスト印字を行ってください。
テスト印字を実行するとプリンターのノズルクリーニングを行ったあとで以下のパターンが印刷されます。正常に印刷された場合にはかすれは改善されています。かすれが改善されていない場合には、もう１度テスト印字を行ってください。(最大２回まで) それでも改善されていない場合は、40 ページの「プリンターのノズル清掃」を行ってください。

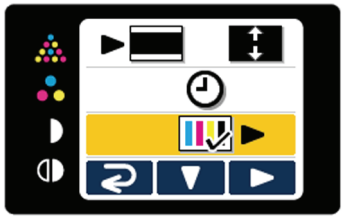


＊部分は、カラータイプのみ印刷されます。

1 設定キーを押す。
- **ディスプレイに設定画面が表示されます。**



2 **ワイドタイプの場合：**設定キー（▼）を４回押す。
標準タイプの場合：設定キー（▼）を３回押す。
- **テスト印字が選択されます。**



3 マルチコピーキー（▶）を押す。
- **プリンターのノズルクリーニングが行われたあと、テストパターンが印刷されます。**

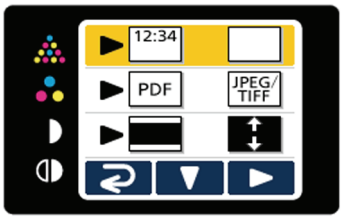
4 モード (濃度) 切替キー（↩）を押して、通常画面に戻る。

お知らせ
- テストパターンの後半がかすれる場合は、プリントカートリッジの交換時期です。42 ページからの「プリンターのカートリッジ交換」を行ってください。

アライメント調整（カラータイプのみ）

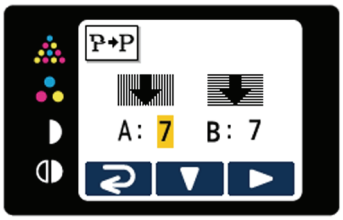
プリンターのカラー印字位置を微調整します。
プリンターのカラープリントカートリッジを交換したときは、必ず以下の手順でアライメント調整を実施してください。

1 設定キーを押す。
- **ディスプレイに設定画面が表示されます。**

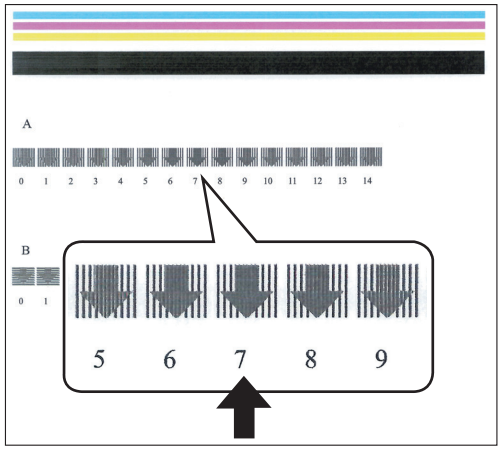


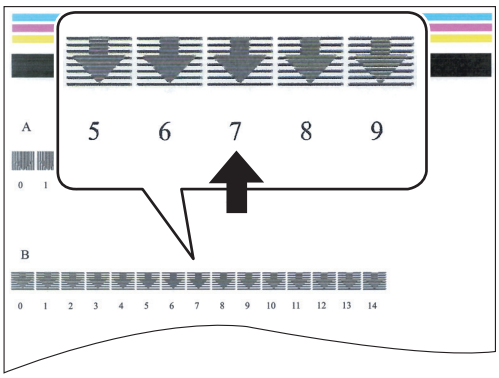
2 **ワイドタイプの場合：**設定キー（▼）を5回押す。
標準タイプの場合：設定キー（▼）を4回押す。
- **アライメント調整が選択されます。**

3 マルチコピーキー（▶）を押す。
- **アライメント調整パターンが印刷され、ディスプレイにアライメント調整画面が表示されます。**



4 アライメント調整パターンの「A」で矢印が一番きれいに見える番号（0 ～ 14）と「B」で矢印が一番きれいに見える番号（0 ～ 14）を設定する。





- **マルチコピーキー（▶）で「A」または「B」を選択し、設定キー（▼）で数値を設定します。**

5 モード（濃度）切替キー（↩）を押して、通常画面に戻る。

使う

コンピューターインターフェース機能

コンピューターインターフェース機能を使用するには、ドライバーとソフトウェアをお使いのコンピューターにインストールする必要があります。

コンピューターのシステム環境

コンピューター	CD-ROM ドライブが使用可能な IBM® PC/AT® 互換機
CPU	Pentium® II 以上のプロセッサ
インターフェース	USB 2.0 / USB 1.1*1
オペレーティングシステム	Windows® 2000*2 Windows® XP*3 Windows Vista™*4 ※ 64 ビット版では動作しません。
メモリ	256 MB 以上
ハードディスク	200 MB 以上の空き容量 （画像を保存する領域を除く）

*1 本機は Hi-Speed USB 2.0 に対応していません。お使いのコンピューターが Hi-Speed USB 2.0 に対応していても、本機は Full Speed USB 2.0 で動作します。

*2 Windows 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 operating system です。

*3 Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。

*4 Windows Vista の正式名称は、Microsoft® Windows Vista™ operating system です。

- この必要条件は、すべてのオペレーティングシステム、同梱アプリケーションソフトウェアが推奨する条件を満たすものではありません。

CD-ROM の内容

付属の CD-ROM には以下のものが含まれています。

- USB ドライバー
- TWAIN ドライバー
- ボードイメージキャプチャーソフトウェア
  ホワイトボードに書いた文字や貼り付けたチャート等を簡単にコンピューターに読み取り、PDF ファイルに保存することができます。
- 電子黒板の取扱説明書

お知らせ

- 「メニュー」画面には、Quick Image Navigator ソフトウェア、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアおよび Adobe® Reader® をダウンロードするインターネットサイトへのリンクボタンがあります。

コンピューターとの接続

電子黒板とコンピューターを USB ケーブルで接続する場合、下記の点にご注意ください。

- コンピューターにUSB ドライバーとTWAIN ドライバーをインストールした後、USB ケーブルを接続してください。（詳しくは 31 ページからの「ドライバー／ソフトウェアのインストール」をご参照ください。）
- USB ハブを使用しないでください。USB ハブを使用した場合、誤動作を起こす可能性があります。
- 2 台以上の電子黒板を 1 台のコンピューターに接続しないでください。（コンピューターの動作が不安定になることがあります。）
- 本製品に付属の USB ケーブルをご使用ください。

ドライバー／ソフトウェアのインストール

コンピューターインターフェース機能を使用するために、以下の手順に従ってコンピューターに USB ドライバー、TWAIN ドライバー、ボードイメージキャプチャーソフトウェアをインストールしてください。

お願い

- USB ケーブルを接続する指示画面が表示されるまでは、USB ケーブルを接続しないでください。

1 コンピューターの電源を入れ、Windows*1 を起動する。

- **管理者権限（Administrator）でログオンしてください。**

※1 Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

- **セットアップ画面が表示されます。**
- **セットアップ画面が表示されない場合は、「マイ コンピューター」から CD-ROM を選び、"Menu.exe" をダブルクリックしてください。**
- **Windows Vista で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、Menu.exe の実行をクリックしてください。**

3 「ようこそ」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。

4 ［パナボードソフトウェア インストール］をクリックする。

- **Windows Vista でユーザアカウント制御のダイアログが表示された場合、「続行」を選択してインストールを続けてください。**
- **付属の CD-ROM 内の取扱説明書を閲覧するためには、お使いのコンピューターに Adobe Reader または Acrobat® Reader がインストールされている必要があります。お使いのコンピューターがインターネットに接続されていれば Adobe のウェブサイトからダウンロードすることができます。**

5 "使用許諾契約"の内容に同意される場合、［はい］をクリックする。

6 以下の画面が表示されたら、電子黒板またはコンピューターから USB ケーブルをはずし、［OK］をクリックする。

- **Windows Vista で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません。」のメッセージが表示された場合、「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してインストールを続けてください。**

7 ファイルのコピーが終了し以下の画面が表示されたら、電子黒板の電源を入れ、電子黒板とコンピューターを USB ケーブルで接続する。

8 ウィザード画面が表示されたら、画面の指示に従ってインストールを続ける。

- **Windows XP SP2 の場合は、Windows Update への接続ウィザードが表示されますので、［いいえ］を選択してください。**
- **警告ダイアログが表示されますので、［はい］もしくは「続行」を選択してください。Windows Vista の場合は、自動的に実行されます。**

9 インストールが終了したら、［OK］をクリックする。

お知らせ

- インストールが完了して［終了］をクリックしたときに、電子黒板の電源が入っていて USB ケーブルが接続されていると、ボードイメージキャプチャーソフトウェアが自動で起動されます。（詳細は、35 ページの「ボードイメージキャプチャーソフトウェアで読み取る」をご参照ください。）

Quick Image Navigator ソフトウェアのインストール

1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する。

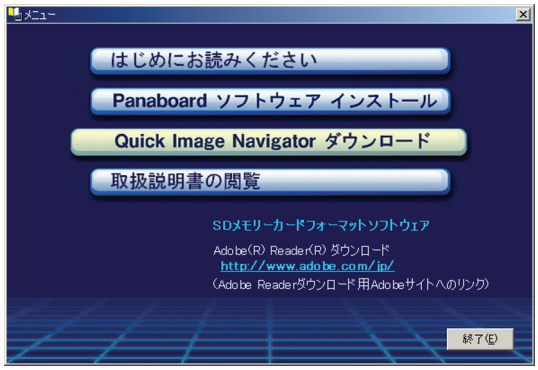
- **管理者権限（Administrator）でログオンしてください。**

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

- **セットアップ画面が表示されます。**
- **セットアップ画面が表示されない場合は、「マイ コンピューター」から CD-ROM を選び、"Menu.exe" をダブルクリックしてください。**

3 「ようこそ」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。

4 ［Quick Image Navigator ダウンロード］をクリックする。



- **Quick Image Navigator をダウンロードするには、お使いのコンピューターがインターネットに接続されている必要があります。**

5 Quick Image Navigator ダウンロード用の Web サイトが表示されたら、必要な Quick Image Navigator ソフトウェアをダウンロードし、実行する。

6 画面の指示に従ってインストールする。

- **Quick Image Navigator の使用方法については、Quick Image Navigator 取扱説明書をダウンロードし、ご覧ください。**
- **Quick Image Navigator 取扱説明書を閲覧するためには、お使いのコンピューターに Adobe Reader または Acrobat Reader がインストールされている必要があります。**

ドライバー／ソフトウェアを削除するには

USB ドライバー、TWAIN ドライバー、ボードイメージキャプチャーソフトウェアを削除する必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する。
- **管理者権限（Administrator）でログオンしてください。**

2 [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除] を選択する。
（Windows XP の場合は、[プログラムの追加と削除] を選択します。）
（Windows Vista の場合は、「プログラムのアンインストール」を選択します。）

3 以下から削除するソフトウェアを選択し、削除する。
USB ドライバーおよび
TWAIN ドライバーを削除する場合：
「Panaboard UB-2 ソフトウェア」
ボードイメージキャプチャー
ソフトウェアを削除する場合：
「Panasonic ボードイメージキャプチャー」

4 画面の指示に従って操作する。

5 操作が終了したら、コンピューターを再起動する。

Quick Image Navigator ソフトウェアを削除するには

インストールした Quick Image Navigator ソフトウェアを削除する必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する。
- **管理者権限（Administrator）でログオンしてください。**

2 [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除] を選択する。
（Windows XP の場合は、[プログラムの追加と削除] を選択します。）
（Windows Vista の場合は、「プログラムのアンインストール」を選択します。）

3 「Panasonic Quick Image Navigator」を選択し、削除する。

4 画面の指示に従って操作する。

5 操作が終了したら、コンピューターを再起動する。

ボードイメージキャプチャーソフトウェアで読み取る

ホワイトボードに書いた文字や貼り付けたチャートを簡単にコンピューターに読み取り、PDF ファイルに保存することができます。

1 電子黒板の電源を入れる。

2 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する。

3 電子黒板とコンピューターをUSBケーブルで接続する。

- **ボードイメージキャプチャーソフトウェアが起動し、電子黒板操作パネル（TWAIN ドライバー）が表示されます。**

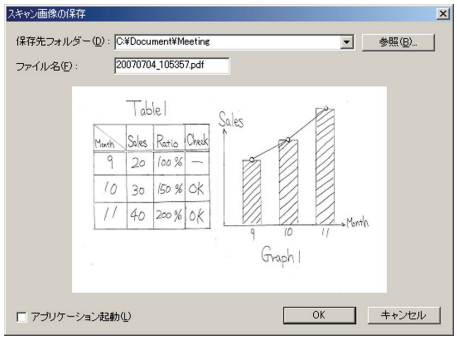
（カラータイプの場合）

お知らせ

- 電子黒板操作パネルが表示されない場合は、USB ケーブルの接続、電子黒板の状態を確認してください。

4 スタートボタンをクリックする。

- **読み取りが終了すると、ファイル保存ダイアログボックスが表示されます。**



5 保存するフォルダーとファイル名を設定し、［OK］ボタンをクリックする。

- **「アプリケーション起動」をチェックすると、ファイルを保存した後、読み取った画像を表示します。**
  画像を表示するためには、お使いのコンピューターに Adobe Reader または Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

お知らせ

- 保存先フォルダーには、最近使用したフォルダーが最大 5 つまで表示されます。

6 電子黒板操作パネルの［閉じる］をクリックすると、電子黒板操作パネルが閉じます。

お知らせ

- Quick Image Navigator を使用して電子黒板操作パネルを表示している場合、ボードイメージキャプチャーソフトウェアを起動できません。電子黒板操作パネルを閉じた後、再度ボードイメージキャプチャーソフトウェアを起動してください。
- USB ケーブル接続時、ボードイメージキャプチャーソフトウェアが自動で起動しない設定に変更するには、以下の操作を行ってください。
  1) 電子黒板とコンピューターを USB ケーブルで接続する
  2) ［スタート］をクリックし、［設定］-［コントロールパネル］をクリック後、［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックする。
     - Windows XP では、［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
     - Windows Vista では、［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］をクリック後、［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
  3) ［Panaboard-UB2 Series］アイコンをダブルクリックし、「イベント」タブの「デバイスのイベントを実行しない」チェックボックスをチェックする。

ボードイメージキャプチャーソフトウェアを起動するには、［スタート］をクリックし、［プログラム］－［Panasonic］－［ボードイメージキャプチャー］－［ボードイメージキャプチャー］をクリックする。
（Windows XP / Windows Vista では［プログラム］ではなく、［すべてのプログラム］になります。）

Quick Image Navigator ソフトウェアで読み取る

ホワイトボードに書いた文字や貼り付けたチャートを Quick Image Navigator を使用して読み取ることができます。

1 Windows の［スタート］をクリックし、［プログラム］－［Panasonic］－［Panasonic Document Management System］－［Quick Image Navigator］をクリックする。（Windows XP / Windows Vista では［プログラム］ではなく、［すべてのプログラム］になります。）

2 ［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックし、「TWAIN」タブをクリック後、［TWAIN 対応機器の選択］をクリックする。

3 ［Panaboard UB-2 Series］を選択し、［選択］をクリックする。

4 ［ファイル］メニューから［イメージの取り込み］－［インポートフォルダへ］または［カレントフォルダへ］をクリックする。または、ツールバーの（スキャナ）アイコンをクリックする。

- **電子黒板操作パネル（TWAIN ドライバー）が表示されます。**

（カラータイプの場合）

お知らせ

- 電子黒板操作パネルが表示されない場合は、USB ケーブルの接続、電子黒板の状態を確認してください。

5 スタートボタンをクリックする。

- **電子黒板の読み取りが開始され、読み取りが終了すると読み取られた画像がコンピューターの画面に表示されます。**
- **読み取りを中断する場合は、スキャン中ダイアログボックスの［スキャン停止］をクリックします。**

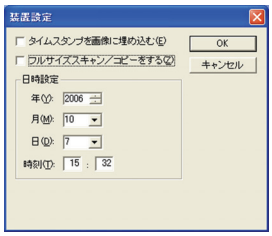
6 電子黒板操作パネルの［閉じる］をクリックすると、電子黒板操作パネルが消え、電子黒板の読み取りが終了します。

- **Quick Image Navigator の使用法については、Quick Image Navigator 取扱説明書をご覧ください。**

電子黒板操作パネル（TWAIN ドライバー）

〔カラータイプ〕

〔モノクロタイプ〕

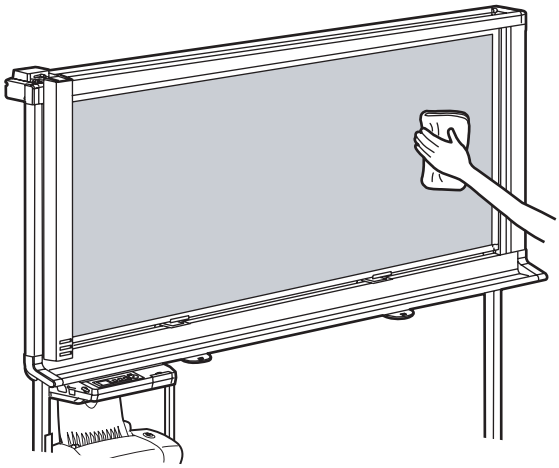
なまえ	はたらき
 ①モードボタン （カラータイプ）	ボタンを押して、読み取りモードを選択します。 高精細カラー：　高精細なカラーで読み取ります。貼り付けたチャート等をカラーで読み取るときに使用します。 標準カラー：　標準のカラーで読み取ります。マーカーで書いた文字をカラーで読み取るときに使用します。 白黒（こい）：　通常濃度より濃いモノクロで読み取ります。 白黒（ふつう）：通常濃度のモノクロで読み取ります。
 ②濃度ボタン （モノクロタイプ）	ボタンを押して、読み取り濃度を選択します。 こい：　通常濃度より濃いモノクロで読み取ります。 ふつう：　通常濃度のモノクロで読み取ります。
 ③スタートボタン	ホワイトボード面の読み取りを開始します。
装置設定 ④装置設定ボタン	 以下の設定を変更する場合にクリックします。 • タイムスタンプを画像に埋め込む： チェックすると読み取った画像にタイムスタンプを表示します。 • フルサイズスキャン／コピーをする：（ワイドタイプのみ） チェックするとフルサイズに設定されます。 • 日時設定： 年・月・日・時刻を設定します。
ヘルプ ⑤ヘルプボタン	ヘルプを表示します。
閉じる ⑥閉じるボタン	電子黒板操作パネルを閉じます。

日常のお手入れ

本体を清掃するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ホワイトボード・本体部のお手入れ

水にぬらしてよくしぼった柔らかい布で、軽くふいてください。

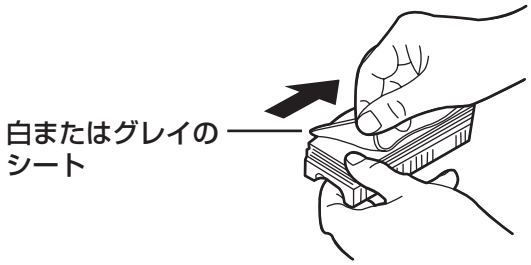


お願い

- 誤って油性マーカーで書いた場合、少量のエチルアルコールでふき取ってください。この際は、換気をよくしてください。
- シンナーやベンジン、研磨剤または界面活性剤入りの洗剤などは使わないでください。（変色や消去不良の原因になります。）

イレーサー（黒板消し）のお手入れ

イレーサーの消去面が汚れたら、指で下層のシートを押さえ、汚れたシート (白またはグレイのシート) を矢印の方向に引いて 1 枚はがしてください。

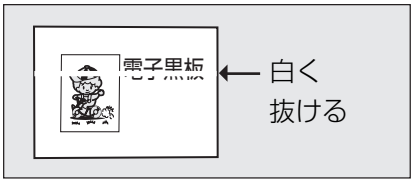


お願い

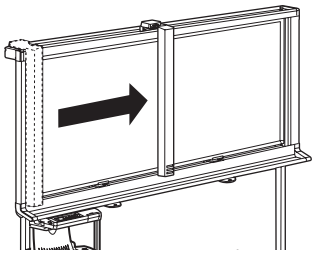
- 白またはグレイのシートを 1 枚だけはがすように注意してください。
- イレーサーが薄くなったら、消すときにイレーサーの角がホワイトボードに当たらないように注意してください。（ホワイトボードを傷つけることがあります）

白基準板の清掃

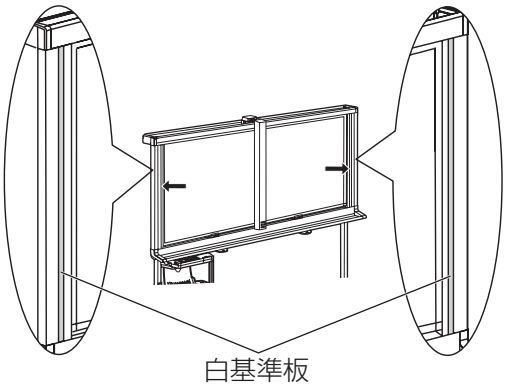
コピーの一部が横長に白くぬけるとき、または真っ白になったときは、白基準板を清掃してください。



1 スキャナーをホワイトボードの中央部に移動する。



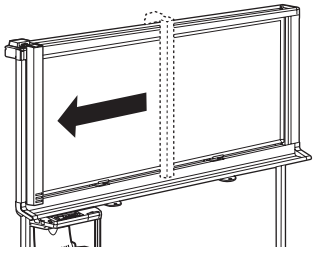
2 水にぬらしてよくしぼった柔らかい布で、両端の白基準板を軽くふいてください。



お願い

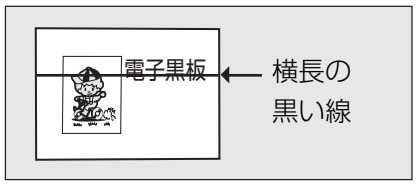
- シンナーやベンジン、研磨剤入りの洗剤などは使わないでください。（変色の原因になります。）

3 スキャナーを戻す。

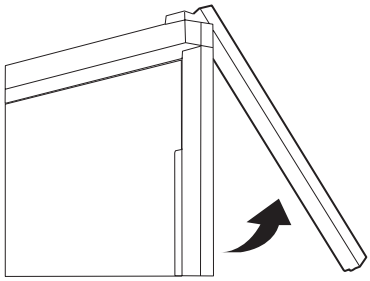


スキャナーの清掃

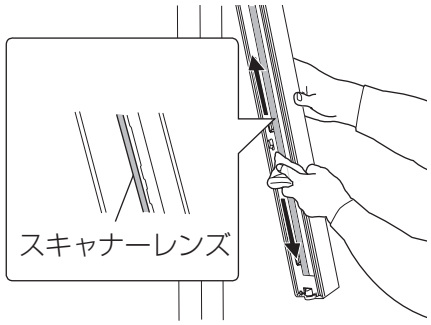
コピーに横長の黒い線がでるとき、または真っ黒になったときは、スキャナーを清掃してください。



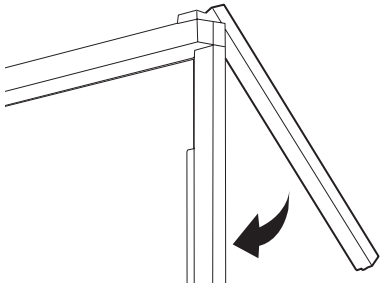
1 スキャナーを持ち上げる。



2 水にぬらしてよくしぼった柔らかい布または綿棒で、スキャナーレンズを軽くふいてください。



3 スキャナーをもとの位置に戻す。



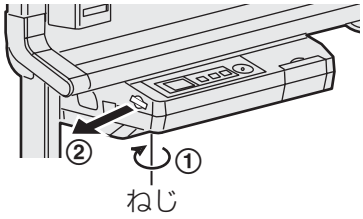
お願い

- スキャナーに強い衝撃を与えないでください。（機器障害の原因になります。）

電池交換

本体の電源を入れるたびに時刻設定画面がディスプレイに表示されるときは、時計用の電池が消耗しています。以下の手順で電池を交換した後、時刻設定（☞ 27 ページ）を行ってください。

1 コントロールパネル下側のネジ（1 箇所）をゆるめ、電池ホルダーを取り外す。

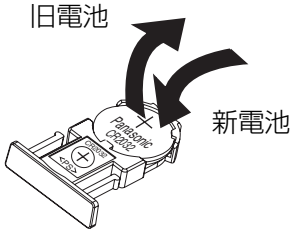


お願い

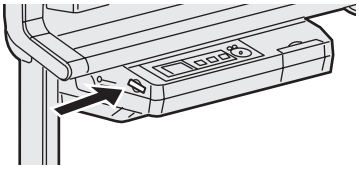
- 他のネジはゆるめないでください。

2 古い電池を外し、新しい電池を ⊕ 表示面を上にして取り付ける。

- **電池は必ず「CR2032」を使用し、⊕ ⊖ の方向を間違えないようにして挿入してください。**



3 電池面を上にして電池ホルダーを取り付け、手順 1 でゆるめたネジを締めつける。



4 電源を入れ、時刻を設定する。（☞ 27 ページ）

お願い

- 使えなくなった電池は、速やかに取り出し、地域で定められた方法に従って処理してください。

プリンターのノズル清掃

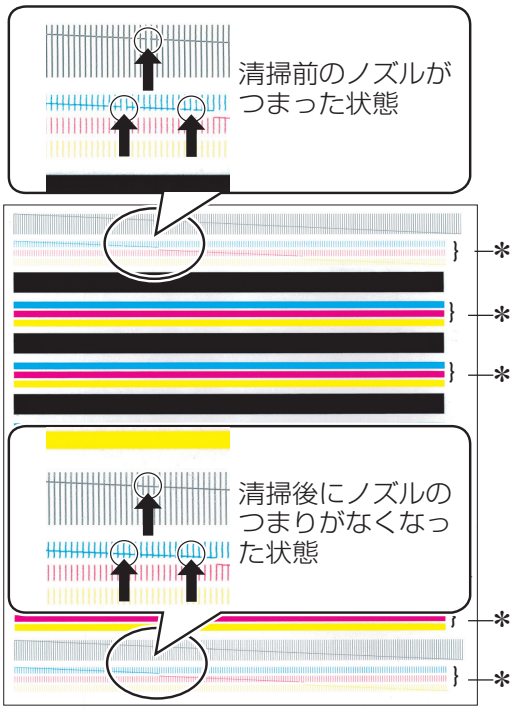
コピー画像がかすれてきたとき、またはカラータイプで印刷された画像がホワイトボード上の画像と著しく異なったり、カートリッジ交換後にアライメント調整を行っても印刷された画像がかすれているときは、下記の手順でノズル清掃を行ってください。

1 記録紙をそろえ、印刷面を上にしてセットし、記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせる。（☞ 20 ページ）

2 テスト印字を実行する。（☞ 28 ページ）

- **テスト印字を実行するとプリンターのノズルクリーニングを行ったあとでテストパターンが印刷されます。**

3 テスト印字されたパターン上の斜線部分に途切れが複数ないか確認する。



＊部分は、カラータイプのみ印刷されます。

- 途切れ個所が減らないときは、上記の手順 2 を繰り返します（最大 2 回まで）。
- 途切れが 2、3 箇所残ったときでも通常に複写することができます。
  どうしても気になる場合は、プリントカートリッジを取り出し、プリントカートリッジのノズル面および接触面を清掃してください。（☞ 41 ページ）

お願い

- テストパターンを印刷した直後は、インクが完全に乾いていない場合があります。印刷部分に触れると手が汚れることがありますのでご注意ください。

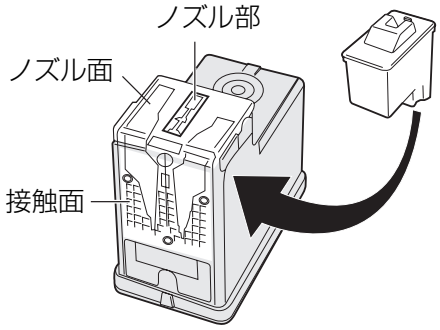
プリントカートリッジのノズル面／接触面の清掃

ノズル清掃（☞ 40 ページ）を行ったあとでも印刷品質が改善されないときは、下記の手順でノズル面や接触面の清掃を行ってください。

- 色がかすれる
- ボードに書いた（貼り付けた）画像と著しく異なる
- 印刷が濃すぎる、インクがにじむ
- 縦の線が波打っている
- 画像が抜ける
- 白いすじが入る
- 記録紙が汚れる

1 プリンターのプリントカートリッジを取り外す。（☞ 42 ページ）

2 清潔な布をぬるま湯で湿らせて、プリントカートリッジのノズル面や接触面をそれぞれ、布のきれいな個所で一方向にそっと拭き取るようにして清掃する。



- **こびりついたインクを溶かすには、拭き取る前に湿った布をノズル面や接触面に 3 秒間ほど押しあててください。**
- **黒とカラー用の両方を清掃します。**

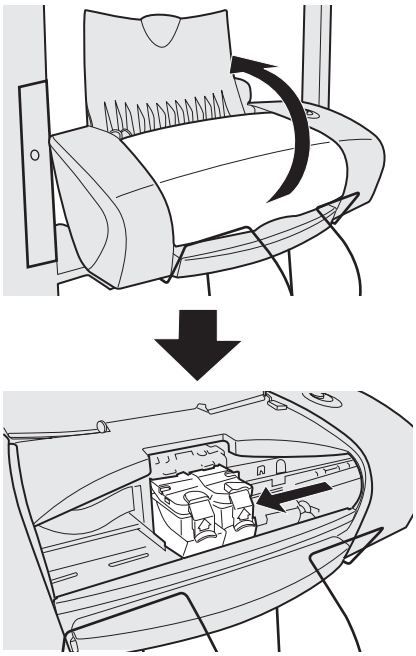
3 プリントカートリッジを元の位置に戻す。（☞ 43 ページ）

プリンターのカートリッジ交換

コピー画像がかすれてきたら、プリントカートリッジの交換時期です。

1 プリンターの電源ボタンを押してプリンターの電源を入れ、フロントカバーを開ける。

- **カートリッジホルダーが交換できる位置まで移動します。**

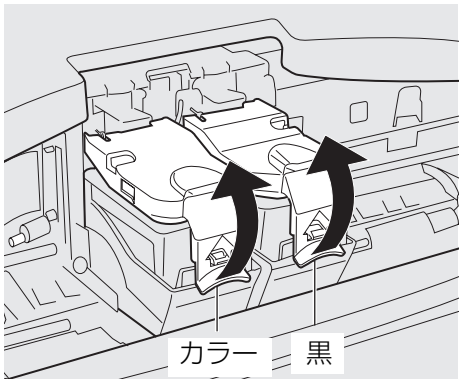


お願い

- 電源を切った状態では、カートリッジホルダーが交換できる位置まで移動しないため、プリントカートリッジの交換ができません。

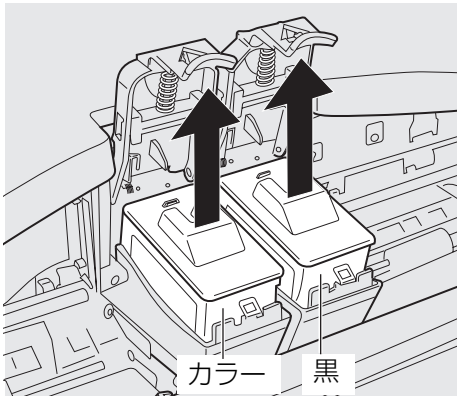
2 カートリッジホルダーのカバー（緑色）を開ける。

右側：プリントカートリッジ（黒）を交換するとき。
左側：プリントカートリッジ（カラー）を交換するとき。（カラータイプのみ）



3 空のプリントカートリッジを取り出す。

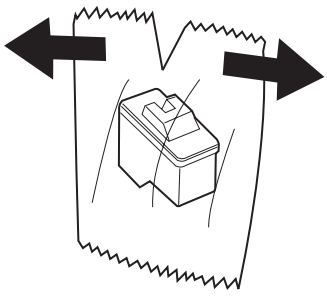
右側：プリントカートリッジ（黒）を交換するとき。
左側：プリントカートリッジ（カラー）を交換するとき。（カラータイプのみ）



4 新しいプリントカートリッジを取り出す。

- **プリントカートリッジは当社指定品をご使用ください。**

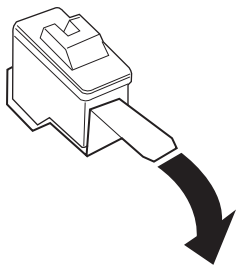
品番：UG-3515（黒）
UG-3517（カラー）
※カラータイプ専用



お願い

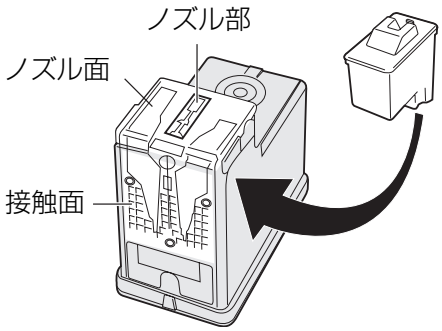
- プリントカートリッジは、プリンターに取り付けるときにパッケージを開けてください。開けたまま放置すると、プリントカートリッジのノズル部分のインクが乾いて印刷（複写）できなくなることがあります。

5 ステッカーをつまんで保護テープをはがす。



お願い

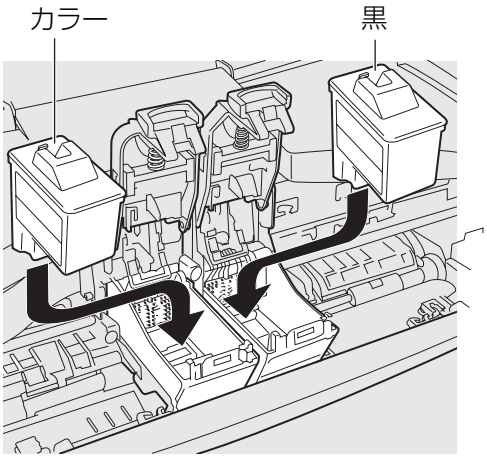
- プリントカートリッジのノズル部分の保護テープがはがれていることを確認してください。
- ノズルには手を触れないでください。インクの出が悪くなり、印刷品質が劣化することがあります。
- 接触面に手を触れたり、汚したりしないでください。プリントカートリッジが正しく認識されず、印刷（複写）できないことがあります。



6 プリントカートリッジをセットする。

- **図の向きに静かに差し込みます。**

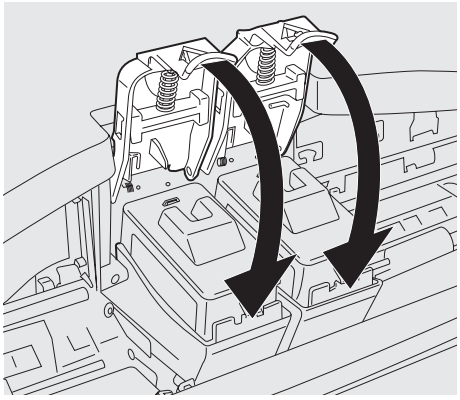
右側：プリントカートリッジ（黒）を交換するとき。
左側：プリントカートリッジ（カラー）を交換するとき。（カラータイプのみ）



7 カートリッジホルダーのカバー（緑色）を閉じる。

- **ロックするまできちんと閉じてください。**

右側：プリントカートリッジ（黒）を交換するとき。
左側：プリントカートリッジ（カラー）を交換するとき。（カラータイプのみ）



8 プリンターのフロントカバーを閉じる。

- **プリントカートリッジの位置が自動的に待機位置に戻り、複写可能状態となります。**

お願い

- カラータイプのみ：
  プリントカートリッジ交換後は必ずアライメント調整を行ってください。（☞ 29 ページ）

故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検）

ディスプレイにエラー記号またはエラーコードが表示されている場合は、「こんな表示が出たら」（☞ 46 ページ）を参照ください。
故障かなと思ったときは、下表に従って処置してください。直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　と　処　置	参照ページ
電源スイッチを入れてもディスプレイが点灯しない。	電源プラグが確実に差し込まれているか確認する。 （それでも点灯しないときは、電源をいったん切って、再度入れ直す。）	–
ホワイトボードに書いた文字が消えにくい。	• 水を浸した布をよくしぼってふく。 • 文字や線は、ゆっくり書く。はやく書いた文字や線は消えにくくなることがあります。 • 文字や線を消すときは、マーカーのインキが十分乾いた状態で消す。 • 界面活性剤入りのクリーナーは使用しない。文字や線が消えにくくなることがあります。	–
ホワイトボードに書いた文字の端が読み取られない。	読み取られない部分に文字を書いている。 ➡ 読み取られない部分には文字を書かない。	12
読み取り画像が白い／薄い／かすれる。	ホワイトボード面への記入が細い、または薄い。 ➡ 太く、濃く書くか、新しいマーカーに取り替える。	–
黒や白の横線が出る、または読み取られない／黒く読み取られる。	白基準板にマグネットを貼り付けている。 ➡ 白基準板からマグネットを外す。	–
	白基準板にゴミが付着したり、汚れている。 ➡ 白基準板を清掃する。	39
	スキャナーのレンズにゴミが付着したり、汚れている。 ➡ スキャナーのレンズを清掃する。	39
	強い光があたっていたり、窓ぎわの明るい場所で使用している。 ➡ 本機の方向をかえるか、光を遮る。	–
プリンターに印刷された画像が色がうすい／かすれる／真白になる。	テスト印字を行う。 テスト印字を行っても改善されない場合： • プリンターのプリントカートリッジのインクがなくなっている。 ➡ プリンターのプリントカートリッジを交換する。 • プリンターのノズルが詰まったり、汚れている。 ➡ プリンターのノズルを清掃する。	28 42 40
プリンターに複写できない。	USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードが挿入されている ➡ USB フラッシュメモリーおよび SD メモリーカードを抜く。	19
[カラータイプの場合のみ] プリンターに印刷された画像が色がずれている／にじんでいる。	プリンターのアライメント調整を行う。	29
[カラータイプの場合のみ] ディスプレイに が表示される。または、高精細カラーおよび標準カラーが選択できない。	カラーのプリントカートリッジが装着されていない。 ➡ カラーのプリントカートリッジを装着する。	42

症　状	原　因　と　処　置	参照ページ
USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードを認識しない。	本機で使用できない USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードである。 ➡ 使用可能な USB フラッシュメモリー・SD メモリーカードについての情報は、以下のアドレスをご参照ください。 http://panasonic.biz/doc/eboard/ub-2815c_info.htm USB フラッシュメモリーを USB ハブを通して接続している。 ➡ USB ハブを通して接続しない。	22 23
USB フラッシュメモリーを認識するのに非常に時間がかかる。	USB フラッシュメモリーが FAT32 でフォーマットされている。 ➡ FAT（FAT16）でフォーマットする。 ※USB フラッシュメモリーをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。	22
USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードに保存された画像が 90 度回転している。	JPEG 形式（カラー画像）または TIFF 形式（白黒画像）の画像は 90 度回転して保存される。 ➡ グラフィックソフトウェア等で正常な向きに回転させてください。	26
電源スイッチを入れるとディスプレイに時刻設定画面が表示される。	電池が消耗している。 ➡ 電池を交換し、時刻を設定する。	40
コンピューターが本機を認識しない。	コンピューター用 USB ケーブルが正しく接続されているか、また本機が動作できる状態になっているか確認する。	30
	本機を USB ハブを通して接続している。 ➡ USB ハブを通して接続しない。	–
USB ドライバーが動作しない。	本機が「コントロールパネル」の「スキャナとカメラ」に登録されていない。 ➡ 34 ページの「ドライバー／ソフトウェアを削除するには」に従ってソフトウェアをアンインストールし、31 ページの「ドライバー／ソフトウェアのインストール」に従って再度ソフトウェアをインストールする。	34 31
Quick Image Navigator がインストールできない。	ウイルスチェックソフトウェアなどが動作しているコンピューターでは、インストールが正常に完了しないことがあります。ソフトウェアのインストールは、ウイルスチェックソフトウェアを停止してから行ってください。インストールが正常に完了した場合でも、一部のウイルスチェックソフトウェアを動作させるとソフトウェアが正常に動作しないことがあります。	–

こんな表示が出たら

エラー時にはディスプレイに以下のエラーコードが表示されます。

エラーコード	原　因	処　置	参照ページ
U103021 ～U103025 U403021 ～U403025	白基準が異常である。	• 白基準板にマグネットを貼り付けている場合は、外す。 • 白基準板を清掃する。 • 明るい場所で使用している場合は、本体の向きをかえるか光を遮る。	39
U403011 U403012	スキャナーが正常に動作していない。	スキャナーが動くかを確認する。	12
U312224	プリンターに記録紙がセットされていない。	プリンターに記録紙をセットする。	20
	プリンターに給紙ジャムが発生している。	プリンターのジャムを解除する。	–
U312225	プリンターに排紙ジャムが発生している。	プリンターのジャムを解除する。	–
U312226	プリンターのフロントカバーが開いている。	プリンターのフロントカバーを閉じる	–
U312227	モノクロのプリントカートリッジが装着されていない。	モノクロのプリントカートリッジを装着する。	42
U412209	プリンターへの印刷中にプリンター用USB ケーブルが抜かれた。	プリンターとのプリンター用 USB ケーブルを確実に接続し、必要枚数を再度印刷する。	–
U312229 U412211	プリンターに異常が発生している。	①プリンターの電源ボタンを4秒以上押して電源を切る。 ②紙づまりが発生していないか確認する。もし、つまっていたら記録紙を取り除く。 ③プリンターの電源ボタンを押して電源を入れる。	–
U312002 U312161 U312193	対応していないプリンターが接続されている。	正しいプリンターを接続する。	–
U307010	USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	コンピューターを使用して空き容量を増やす。	–
U306010	SD メモリーカードの空き容量が不足している。	コンピューターを使用して空き容量を増やす。	–
U307035	ライトプロテクトされた USB フラッシュメモリーがセットされている。	ライトプロテクトを解除する。	–
U306035	ライトプロテクトされた SD メモリーカードがセットされている。	ライトプロテクトを解除する。	–
U407010	USB フラッシュメモリーへの読み取り中に容量不足が発生した。	コンピューターを使用して空き容量を増やして、再度読み取る。	–
U406010	SD メモリーカードへの読み取り中に容量不足が発生した。	コンピューターを使用して空き容量を増やして、再度読み取る。	–
U307144	USB フラッシュメモリーへの書込み異常が発生した。	コンピューターを使用して USB フラッシュメモリーに正常に書込めるか確認する。	–
U306144	SD メモリーカードへの書込み異常が発生した。	コンピューターを使用して SD メモリーカードに正常に書込めるか確認する。	–

エラーコード	原　因	処　置	参照ページ
U407209	USB フラッシュメモリーへの読み取り中にUSB フラッシュメモリーが取り出された。	USB フラッシュメモリーを挿入して、再度読み取る。	–
U406209	SD メモリーカードへの読み取り中にSD メモリーカードが取り出された。	SD メモリーカードを挿入して、再度読み取る。	–
U307014 U307160 U407035	USB フラッシュメモリー中の以下の保存フォルダーが読み取り専用に設定されている。 UB-2815C："UB-2815C" UB-2315C："UB-2315C" UB-2815：　"UB-2815" UB-2315：　"UB-2315"	保存フォルダーを書き込み可能に設定する。	19
U306014 U306160 U406035	SD メモリーカード中の以下の保存フォルダーが読み取り専用に設定されている。 UB-2815C："UB-2815C" UB-2315C："UB-2315C" UB-2815：　"UB-2815" UB-2315：　"UB-2315"	保存フォルダーを書き込み可能に設定する。	19
U307001 U307002 U307161	使用できない USB フラッシュメモリーがセットされている。	• セキュリティ機能などの特殊な機能を持った USB フラッシュメモリーは使用できない。 • USB フラッシュメモリーの認識が完了するまでの時間は、USB フラッシュメモリーのフォーマットに依存します。認識が完了するまでの時間が非常に長い場合（数十秒以上）は、FAT（FAT16）でフォーマットされているかを確認する。	–
U306001 U306002	使用できない SD メモリーカードがセットされている。	SD メモリーカードが認識されない場合は、コンピューターの標準フォーマットソフトウェアでフォーマットされている可能性があります。 電子黒板で使用する際は、必ず専用のソフトウェアで SD メモリーカード規格に準拠するようにフォーマットを行ってください。フォーマットを行うと SD メモリーカードのデータはすべて削除されます。必ずデータをバックアップしてからフォーマットを行うようにしてください。 フォーマットするための専用のソフトウェアは、以下のホームページよりダウンロードすることができます。 http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/sd_formatter.html	–
U407208 U406208	ファイル名の通番が最大（99）に達した。	USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードの以下のフォルダー中の画像ファイルを他の場所に移動する。 UB-2815C："UB-2815C" UB-2315C："UB-2315C" UB-2815：　"UB-2815" UB-2315：　"UB-2315"	19

そのほかの表示については、販売店にお問い合わせください。

仕様

	品　番	UB-2815C	UB-2315C	UB-2815	UB-2315
概要	電源	交流 100 V、50/60 Hz			
	消費電力：作動時	22 W		20 W	
	外形寸法： 縦×横×幅（mm）	1,858 × 2,014 × 700	1,858 × 1,534 × 700	1,858 × 2,014 × 700	1,858 × 1,534 × 700
	質量：	41 kg	35 kg	41 kg	35 kg
	使用環境条件	周囲温度：10 ℃～ 30 ℃、湿度：30 % ～ 80 %			
	保存環境条件	周囲温度：－ 20 ℃～ 60 ℃、湿度：30 % ～ 80 %			
	ディスプレイ	1.8 インチカラー LCD			
	時計用電池	リチウムボタン電池（CR2032）× 1 個			
	PC インターフェース	Full Speed USB 2.0* * 本機は Hi-Speed USB 2.0 に対応していません。			
入力部	画面数	2 画面スチールホワイトボード (片面暗線入り)			
	ボード画面サイズ： 縦×横（mm）	832 × 1,746	832 × 1,266	832 × 1,746	832 × 1,266
	読み取り画面サイズ： 縦×横（mm）	812 × 1,720	812 × 1,240	800 × 1,720	800 × 1,240
	読み取り方式	密着型イメージセンサーによるスキャナー移動方式			
	筆記具（指定品）	マーカー：黒・赤・青			
	マグネット厚み	7 mm 以下			
	読み取りモード	高精細カラー / 標準カラー 白黒（ふつう）/ 白黒（こい）		ふつう / こい	
	読み取りサイズ	標準サイズ / フルサイズ	－ (標準サイズのみ)	標準サイズ / フルサイズ	－ (標準サイズのみ)
	読み取り解像度： 縦 x 横 (dot/mm)	【標準サイズ】 高精細カラー 1.8 × 1.8 標準カラー 1.8 × 0.9 白黒 1.9 × 1.9 【フルサイズ】 高精細カラー 2.6 × 1.8 標準カラー 2.6 × 0.9 白黒 2.6 × 1.9	高精細カラー 2.6 × 2.6 標準カラー 2.6 × 1.3 白黒 2.6 × 2.6	【標準サイズ】 白黒 1.9 × 0.9 【フルサイズ】 白黒 2.7 × 0.9	白黒 2.6 × 1.3
	読み取り時間 ※プリンターの印刷 時間は除く	高精細カラー：52 秒 標準カラー：　28 秒 白黒：　　20 秒		白黒：　　24 秒	

	品　番	UB-2815C	UB-2315C	UB-2815	UB-2315
プリンター出力部	インターフェース	Full Speed USB 2.0			
	記録紙サイズ	A4 サイズ			
	出力密度	300 dpi			
	連続複写枚数	1 ～ 9 枚			
USB フラッシュメモリー出力部	インターフェース	Full Speed USB 2.0			
	対応フォーマット	FAT (FAT16) フォーマット (最大容量：2 GB)			
	保存ファイル形式	カラー読み取り：PDF/JPEG 白黒読み取り：　PDF/TIFF		白黒読み取り：PDF/TIFF	
SD メモリーカード出力部	SD 規格	Version 1.10　　※ SD I/O 規格には対応していません。			
	対応フォーマット	FAT16 フォーマット *1 (最大容量：2 GB)			
	保存ファイル形式	カラー読み取り：PDF/JPEG 白黒読み取り：　PDF/TIFF		白黒読み取り：PDF/TIFF	

上記の仕様にプリンターは含まれていません。

使用可能な USB フラッシュメモリー・SD メモリーカードについての情報は、以下のアドレスをご参照ください。
http://panasonic.biz/doc/eboard/ub-2815c_info.htm

*1 SD メモリーカードが認識されない場合は、コンピューターの標準フォーマットソフトウェアでフォーマットされている可能性があります。
電子黒板で使用する際は、必ず専用のソフトウェアで SD メモリーカード規格に準拠するようにフォーマットを行ってください。
フォーマットを行うと SD メモリーカードのデータはすべて削除されます。必ずデータをバックアップしてからフォーマットを行うようにしてください。
フォーマットするための専用のソフトウェアは、以下のホームページよりダウンロードすることができます。
http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/sd_formatter.html

プリンター

プリンター Lexmark Z645	記録方式	インクジェットによる普通紙記録方式
	記録用紙	普通紙・再生紙（64 ～ 90 g/ ㎡）
	記録紙サイズ（mm）	A4 版 （縦 210 ×横 297）
	記録密度	600 dpi
	記録紙収納容量	約 50 枚 （当社推奨紙）

別売品・消耗品

別売品 消耗品	マーカー：	KX-B031N（黒 10 本セット）
		KX-B032N（赤 10 本セット）
		KX-B033N（青 10 本セット）
	イレーサー：	KX-B042N（6 個セット）
	マーカー・イレーサーセット：	KX-B035N（マーカー黒・赤・青各 1 本、イレーサー 1 個）
	マルチペーパー A4：	UG-0601A4（A4 カット紙 250 枚・10 パック入り）
	プリントカートリッジ・黒：	UG-3515 (2 個入り)
	プリントカートリッジ・カラー：	UG-3517 (2 個入り)

• 別売品や消耗品の購入は、電子黒板をお買い上げの販売店までご連絡ください。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：　お買い上げ日から
本体 6ヵ月間

ただし、マーカー、イレーサー、プリントカートリッジは消耗品ですので、保障期間内でも「有料」とさせて頂きます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この電子黒板の補修用性能部品を、製造打ち切り後 5 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

44 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはサービス実施会社へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはサービス実施会社が出張修理をさせていただきます。
お買い上げの販売店またはサービス実施会社にご依頼にならない場合には、保証書表面に記載されています電話先へお問合せください。

● 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店またはサービス実施会社へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
お買い上げの販売店またはサービス実施会社にご依頼にならない場合には、保証書表面に記載されています電話先へお問合せください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

- 製品名：　電子黒板
- 品番：　UB-2815C
  UB-2315C
  UB-2815
  UB-2315
- お買い上げ日：　年　月　日
- 故障の内容　できるだけ具体的に

■ アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています電話先へお問合せください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合せは、ご相談された窓口にご連絡ください。

（おしらせ）

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容のすべて、または一部を無断転記することを禁じます。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本機は日本国内用です。
　国外での使用に対するサービスは致しかねます。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	UB-2815C UB-2315C UB-2815 UB-2315
販売店名	電話　（　　）　　－		

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー

© 2006 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.

PJQFC0038YA-F F1006E2097